TOSHIBA

dynabook

図解で読むマニュアル

音楽を聴く ■

オリジナル音楽CDを作る ■

データCD／DVDを作る ■

データをCD／DVDにコピーする ■

DVDの映画や映像を観る ■

デジタルカメラの写真を編集する ■

写真を見やすく整理する ■

テレビを見る／番組を録画する ■

映像を編集してDVDに残す ■

テレビ番組をDVDに直接録画する ■

文書や表、メールを作る ■

サイバーサポートを使う ■

パソコンの基本操作を学習する ■

問い合わせ先 ■

Application

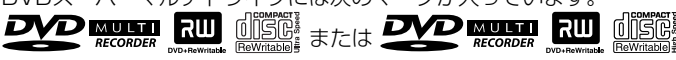
もくじ

記載について

・本書に記載している画面やイラストは一部を省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
・［スタート］メニューやデスクトップ、フォルダなどの内容は、お客様の使用状況により、本書と実際の表示とが異なる場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者及び著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

はじめに

本製品を安全に正しくお使いいただくために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。本製品をお使いになる前に必ずお読みください。
本書では、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。必ずお読みください。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 …「 」 他のマニュアルへの参照の場合 …『 』

用語について

本書では次のように定義します。

Windows XP ……Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版またはMicrosoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版またはMicrosoft® Windows® XP Tablet PC Edition 2005 operating system 日本語版を示します。

Office Personal 2003 ……Microsoft® Office Personal Edition 2003 を示します。

Word 2003 ……Microsoft® Office Word 2003 を示します。

Excel 2003 ……Microsoft® Office Excel 2003 を示します。

Outlook 2003 ……Microsoft® Office Outlook® 2003 を示します。

ドライブ ……DVDスーパーマルチドライブ／DVD-ROM&CD-R/RWドライブを示します。
内蔵されているドライブはモデルによって異なります。
参照 ドライブについて『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

DVDスーパーマルチドライブモデル ……DVDスーパーマルチドライブが内蔵されているモデルを示します。
DVDスーパーマルチドライブには次のマークが入っています。
または
または
＊マークの位置や並び順は異なる場合があります。

Office搭載モデル ……Microsoft® Office Personal Edition 2003およびMicrosoft® Office OneNote® 2003がプレインストールされているモデルを示します。

TVチューナ内蔵モデル ……TVチューナが内蔵されているモデルを示します。

Trademarks

本書に掲載の商標および登録商標については、巻末をご覧ください。

音楽を聴く

BeatJam for TOSHIBA

（ビート ジャム フォー トウシバ）

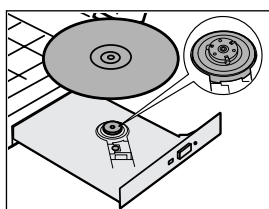
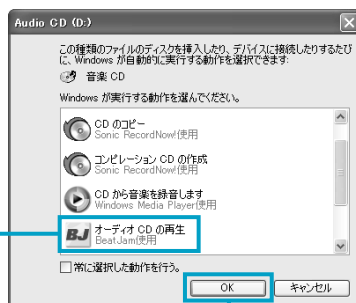
音楽を聴くには、「BeatJam」を使います。音楽CDを聴く以外にも、音楽ファイルを作ったり、好きな音楽ファイルをまとめて1つのリストを作ることもできます。

音楽CDを聴く

ここでは、音楽CDを聴く方法を説明します。ドライブに音楽CDをセットするだけで、「BeatJam」を起動することができます。

1 ドライブに音楽CDをセットする

2 操作の目的を選択する

[オーディオCDの再生 BeatJam使用] が表示されていない場合は、▼をクリックして表示してください。

① [オーディオCDの再生 BeatJam使用] をクリック

② [OK] ボタンをクリック

【初めて起動したとき】

[使用許諾契約の確認] 画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。続けて、ユーザ登録をおすすめする画面が表示されます。[OK] ボタンをクリックし、画面の指示に従ってユーザ登録を行ってください。ユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。

「BeatJam」が起動しなかったときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [BeatJam] → [BeatJam] をクリックしてください。

音楽ファイルを作る／聴く

ここでは、音楽CDの曲をパソコンに録音して、音楽ファイルを作る方法を説明します。音楽ファイルを作ったら、そのファイルを再生してみましょう。あらかじめ、ドライブに音楽CDをセットしておいてください。

1 音楽CDから録音する曲を選択する

① [CD] ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。

② 録音する曲をチェックする
録音しない曲はチェックをはずしてください。

③ [録音] ボタンをクリック

ここで、アルバムタイトルやアーティスト名などを設定することもできます。

2 録音する形式を選択する

ここでは、[OpenMG形式] を選択します。

① [OpenMG形式] をクリック

② [OK] ボタンをクリック

3 音楽を聴く

① [CD] ボタンをクリック
CDパネルが表示されます。

曲をクリックすると、その曲から再生を始めます。

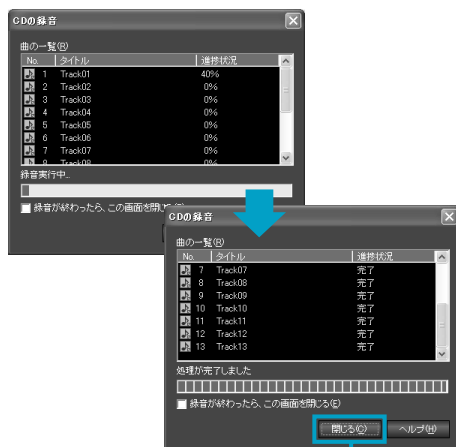
曲を選択しない場合は、1番上に表示されている曲から順番に再生されます。

② [再生] ボタンをクリック

曲は、「Track（トラック）」と表示されます。

これで再生できました。

・「CDドライブのチェックを実行しますか？」というメッセージが表示された場合は、チェックを行うときは［はい］ボタン（推奨）、行わないときは［いいえ］ボタンをクリックしてください。
チェックを行うと、ドライブを最適な状態で使用することができます。

音楽CDの曲がパソコンに録音され、
音楽ファイルの作成が始まります。

① [閉じる] ボタンをクリック

音楽ファイルの作成が完了したら、[閉じる] ボタンをクリックしてください。

3 音楽ファイルを再生する

ライブラリパネルが表示されます。作成した音楽ファイルは、ライブラリパネルで再生できます。

① [再生] ボタンをクリック

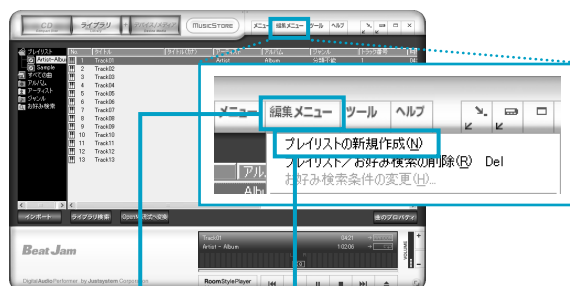
これで再生できました。

・「BeatJam」では、MP3ファイルの再生は可能ですが、MP3形式のデータを作成することができません。
・音楽CDの曲情報をGracenote CDDBから取り込むことができます。Gracenote CDDBについては、「BeatJam」のヘルプを確認してください。Gracenote CDDBは、ユーザ登録しないと使用できません。

自分だけの演奏リスト（プレイリスト）を作る

ここでは、プレイリストを作る方法を説明します。音楽ファイルを好きな順番に並べて1つにまとめたものを「プレイリスト」といい、自分だけの演奏リストを作ることができます。

1 ［ライブラリ］ボタンをクリックする

2 プレイリストを作る

① ［編集メニュー］をクリック

② ［プレイリストの新規作成］をクリック

CDパネルの操作画面

ここでは、CDパネルの操作画面について説明します。

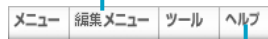
切り替えボタン
表示パネルを切り替えます。

ライブラリパネル
「BeatJam」で管理している曲を一覧できます。

CDパネル
音楽CDを聴く／音楽CDから曲を録音するときに使います。

MUSICSTORE
クリックすると、音楽配信サイトを紹介する画面が表示されます。

メニュー
「BeatJam」の各操作を行うことができます。

編集メニュー
現在編集しているパネルに関するメニューが表示されます。

ヘルプ
「BeatJam」のヘルプを表示します。

ミニプレイヤー
操作ボタンや音量調節など、音楽を聴くための機能を集約した画面です。 をクリックするとミニプレイヤーに切り替わります。

操作ボタン
再生操作を行います。

停止

一時停止

再生

次の曲
再生する曲を1つ進めます。

RoomStyleプレイヤー
画面全体に表示されたムービーを楽しみながら音楽を聴くことができます。

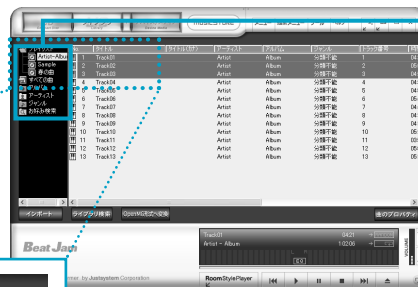
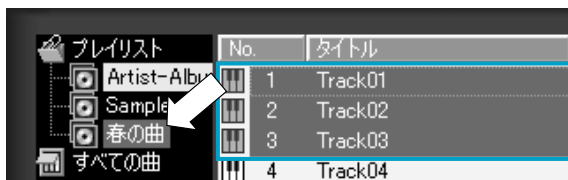
頭出し／前の曲
再生中の曲の頭出し、または曲を1つ戻します。

音量を調整します。＋ボタンをクリックすると音量が大きくなり、－ボタンをクリックすると小さくなります。

3 プレイリストに名前をつける

［New Playlist］という新しいプレイリストが追加されます。［New Playlist］の名前は変更できます。
キーボードから、名前を入力してください。

名前が変更されます。
ここでは「春の曲」と入力しました。
プレイリスト名を変更したいときは、プレイリスト上で右クリックし、表示されたメニューの［名前の変更］をクリックしてください。

4 プレイリストに曲を追加する

① 新規作成したプレイリストに追加したい曲が入っているプレイリストをクリック
ここでは［Artist-Album］をクリックします。

② 追加したい曲を選択し、新しいプレイリスト（［春の曲］）にドラッグアンドドロップ

曲を複数選択したいときは、CTRL キーを押したまま曲をクリックします。

5 プレイリストが完成

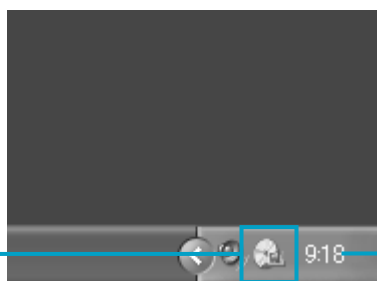
新しいプレイリスト（［春の曲］）をクリックして、曲が追加されたことを確認しましょう。

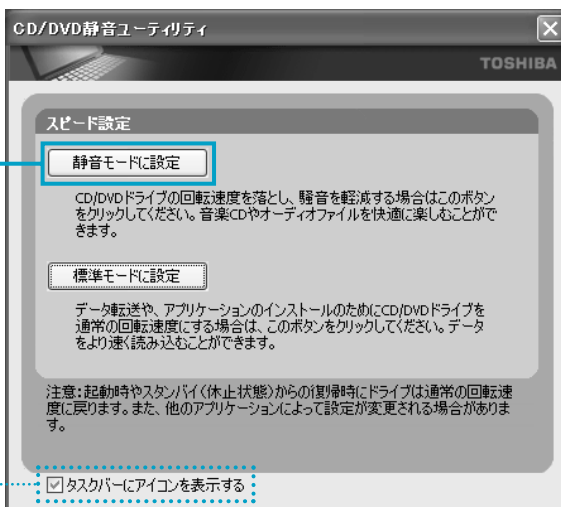
メモ

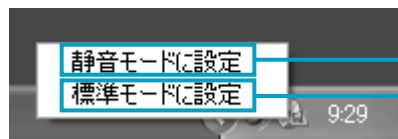
・音楽を聴くアプリケーションとして、「Windows Media Player」も用意されています。「Windows Media Player」についての詳細は、『ヘルプとサポート センター』を確認してください。

ドライブの動作音を小さくする

音楽CDを楽しんでいるときに、ドライブの動作音が気になるときは、「CD/DVD静音ユーティリティ」を使ってみましょう。
ドライブの回転速度をおさえ、動作音を小さくします。

1 ［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコンをダブルクリックする

2 ［静音モードに設定］ボタンをクリックする

［タスクバーにアイコンを表示する］のチェックをはずすと、通知領域のアイコン（ ）が消えます。
この場合、「CD/DVD静音ユーティリティ」を起動するには、［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］→［ CD/DVD静音ユーティリティ］をクリックします。
通知領域にアイコン（ ）をもう1度表示するには、［タスクバーにアイコンを表示する］をチェックしてください。

画面が閉じて、静音モードに設定されます。
これでドライブの動作音が小さくなります。

通知領域の［CD/DVD静音ユーティリティ］アイコン（ ）を右クリックし、表示されたメニューから、モードを選択することもできます。

音楽CDを聴き終わった後は、「標準モード」に設定し直してください。
「静音モード」に設定しているとCDの読み出し速度が遅くなるため、「標準モード」よりもCDの読み出しに時間がかかります。

「静音モード」に設定しても、次のような場合は、「標準モード」に切り替わります。
・システムを再起動したとき
・スタンバイ、休止状態から復帰したとき
・「RecordNow!」でCD/DVDの書き込み／編集を行うとき
・CD速度を設定するアプリケーションを使用したとき

【「BeatJam」の問い合わせ先】

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口
受付時間　：平日　10:00〜19:00
土・日・祝日　10:00〜17:00
（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-2624
大阪　06-6886-2624
ホームページ：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター
＊ サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間　：平日　10:00〜19:00
土・日・祝日　10:00〜17:00
（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-3980
大阪　06-6886-7160
ホームページ：http://support.justsystem.co.jp/

オリジナル音楽CDを作る

RecordNow! for TOSHIBA

レコード ナウ フォー トウシバ

オリジナルの音楽CDを作るには、「RecordNow!」を使います。パソコンに音楽CDから曲を取り込んで、好きな曲を1つのCDにまとめることができます。

オリジナル音楽CDを作るには、CD-RW、CD-Rを使います。

「RecordNow!」を使うために

【CD/DVDに書き込む前に】

CD/DVDに書き込みを行うときは、Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは、使用しないでください。

CD/DVDに書き込みを行うときは、次の注意をよく読んでから使用してください。守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

- CD/DVDに書き込むときには、それぞれの書き込み速度に対応したメディアを使用してください。DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+Rに書き込むときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。

参照 使用できるメディアについて 『応用にチャレンジ 1章 本体の機能』

- バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体と電源コンセントに接続してご使用ください。
- 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力機能について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

- 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
  - ・スクリーンセーバ
  - ・ウイルスチェックソフト
  - ・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
  - ・モデムなどの通信アプリケーション など

  ソフトウェアによっては、動作の不安定やデータの破損の原因となります。
- SDメモリカード、PCカードタイプのハードディスクドライブ、USB接続などのハードディスクドライブなど、本製品の内蔵ハードディスク以外の記憶装置にあるデータを書き込むときは、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- LANを経由する場合は、データをいったん本製品の内蔵ハードディスクに保存してから書き込みを行ってください。
- 本製品に付属している「RecordNow!」を使用してDVD-Video、DVD-Audioを作成することはできません。

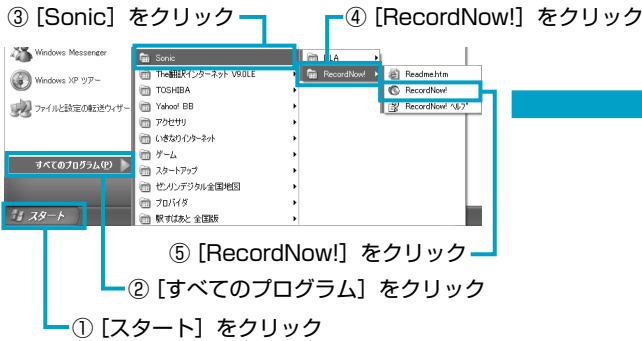
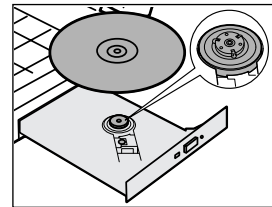
【書き込み／削除を行うにあたって】

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作を行わないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 書き込み／編集作業中は、次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
  PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、スマートメディア、光デジタル対応機器、ビデオ入力コネクタに接続する機器
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、書き込み終了後、必ずデータが正しく書き込まれたことを確認してください。

・作成したCD-RWは、再生機器によっては、再生できないことがあります。

オリジナル音楽CDを作る

ここでは、既成の音楽CDから、曲をいったんパソコンに取り込み、その後CD-Rに書き込んで音楽CDを作る方法を説明します。

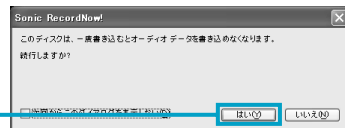
1 起動する

2 ドライブに音楽CDをセットする

音楽CDをセットした後に、［Audio CD］画面が表示された場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。

準備が終了すると、［書き込む音楽］に選択した曲が表示されます。

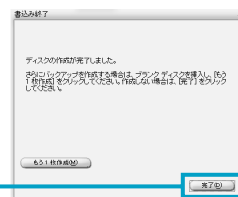
> **メモ**
> ・他の音楽CDからも取り込みたい場合は、ここで音楽CDを入れ替え、手順5～6を繰り返します。
> ・曲順を入れ替えたい場合には、トラックを選択して移動したい位置へドラッグアンドドロップします。

7 ドライブから音楽CDを取り出し、未使用のCD-Rをセットする

8 ［書込み］ボタンをクリックする

9 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CDの書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

10 ［完了］ボタンをクリックする

> **メモ**
> さらに同じ内容のCDを作りたい場合は、ドライブに未使用のCD-Rを入れ替えて、［もう1枚作成］ボタンをクリックしてください。

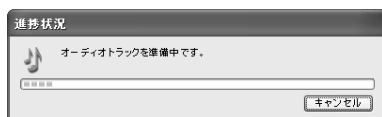
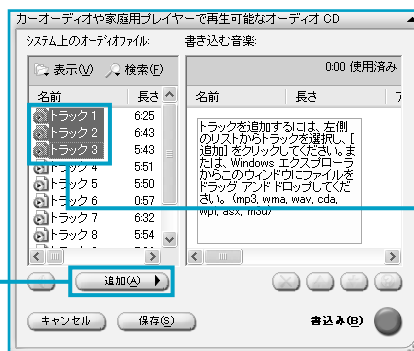
3 ［オーディオ］タブをクリックする

4 ［カーオーディオや家庭用プレイヤーで再生可能なオーディオCD］をクリックする

5 ［ドライブ］を選択する

①［表示］をクリック

②［ドライブ］をクリック

6 書き込みたい曲（トラック）を選択する

選択した曲を、いったんパソコンのハードディスクに取り込みます。取り込みの進捗状態が表示されます。

①曲を選択する

曲は、「トラック」と表示されます。曲を複数選択したい場合は、CTRL キーを押したまま目的の曲をクリックしてください。

②［追加］ボタンをクリック

ヘルプの起動方法

「RecordNow!」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Sonic］→［RecordNow!］→［RecordNow!ヘルプ］をクリックする

【「RecordNow!」「DLA」の問い合わせ先】

ソニック・サポートセンター

受付時間　：10:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・年末年始・特別行事日を除く）

TEL　：03-5232-6400

お問い合わせは、ソニック・ソルーションズのサポートページのメールサポートフォームより質問内容をお送りください。

ホームページ：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

データCD／DVDを作る

RecordNow! for TOSHIBA

パソコンに取り込んで編集した画像など、容量の大きいデータをCD/DVDに書き込むには、「RecordNow!」を使います。「FinePixViewer Lite」で編集した画像をCD/DVDに書き込んで知り合いに配ったりするのにも便利です。

参照 FinePixViewer Liteについて P16「デジタルカメラの写真を編集する」

＊DVDへの書き込みができるのは、DVDスーパーマルチドライブモデルのみ

データCD／DVDを作る

ここでは、パソコンに保存されているデータをCD-R/DVD-Rに書き込んで、データCD／DVDを作る方法を説明します。

1 あらかじめ書き込みたいデータを用意しておく

CD-R、CD-RWなどにデータを書き込んだ場合、データを保護するために「読み取り専用」になっていて、記録ができない場合があります。データを使うときには、1度ハードディスクドライブなどにコピーしてからそのデータを右クリック→［プロパティ］で、［読み取り専用］のチェックをはずしてください。

2 起動する

③［Sonic］をクリック

④［RecordNow!］をクリック

⑤［RecordNow!］をクリック

②［すべてのプログラム］をクリック

①［スタート］をクリック

お願い　データCD／DVDを作るにあたって

＊データCD／DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。P7「オリジナル音楽CDを作る-「RecordNow!」を使うために」と合わせてご覧ください。使用できるメディアについては、『困ったときは 2章 3 CD/DVDにデータのバックアップをとる』の「RecordNow!」に当てはまる部分をご覧ください。

【書き込む前に】

- 「RecordNow!」を使用してDVD-RAMにデータを書き込むことはできません。
- DVD-R、DVD+Rにデータを追記した場合、そのDVD-R、DVD+Rを他のパソコンやドライブで読もうとしたとき、OSやドライブの制限により、記録されているすべての内容を読み出せないことがあります。Windows 98SE*1、Windows Me*2などの16ビット系OSではDVD-R、DVD+Rメディアに追記されたデータを読むことはできません。Windows NT4.0*3ではService Pack 6以降、Windows 2000*4ではService Pack 2以降が必要です。また、DVD-ROMドライブ、DVD-ROM&CD-R/RWドライブの種類によっては追記したデータを読むことができないものがあります。

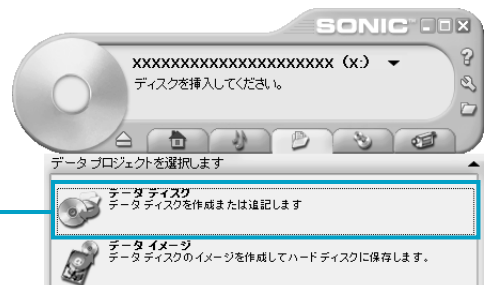
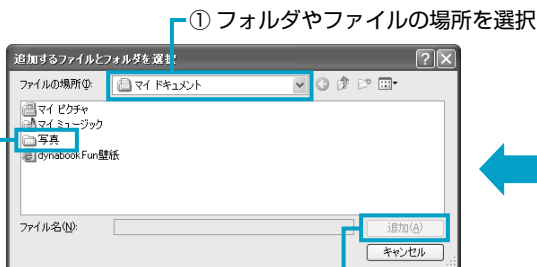
【書き込み／削除を行うにあたって】

- 「RecordNow!」で、重要なデータを書き込む場合は、次の設定を行ってください。正常に書き込まれていることを確認できます。
  ①「RecordNow!」を起動し、画面右上の［オプション］ボタン（ ）をクリックする
  　［オプション］画面が表示されます。
  ② 画面左側の一覧の［データ］をクリックする
  ③［データオプション］の［書込み後、ディスクに書き込まれたデータをベリファイする］をチェックする
  ④［OK］ボタンをクリックする

＊1 Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating system日本語版を示します。
＊2 Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system日本語版を示します。
＊3 Microsoft® Windows NT® Workstation4.0 operating system日本語版を示します。
＊4 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system日本語版を示します。

3 ［データプロジェクト］タブをクリックする

4 ［データディスク］をクリックする

5 ［フォルダとファイルを追加］をクリックする

6 書き込みたいフォルダやファイルを指定する

① フォルダやファイルの場所を選択

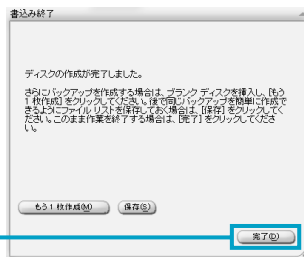
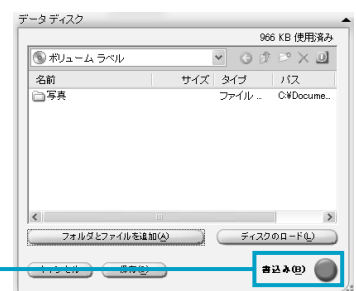
② フォルダやファイルを選択　③［追加］をクリック

選択したフォルダやファイルが表示されます。

7 未使用のDVD-R、CD-Rをドライブにセットする

8 ［書込み］ボタンをクリックする

書き込み中は、次の画面が表示されます。

CD/DVDへの書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

9 ［完了］ボタンをクリックする

メモ

「RecordNow!」の問い合わせ先については、P9を参照してください。

データをCD／DVDにコピーする

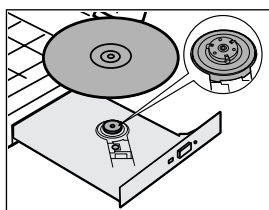
DLA for TOSHIBA

（ディーエルエー フォー トウシバ）

1枚のCD/DVDに繰り返しデータを書き込みたい場合は、「DLA」を使います。書き込み方法も簡単なので、頻繁にデータを保存したいときに便利です。「DLA」で使用できるメディアは**DVD-RW、DVD+RW、CD-RW**のみです。ご使用のモデルと使用できるメディアについての詳細は、『困ったときは 2章 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』をご覧ください。

CD／DVDをフォーマットする

初めて「DLA」で使用するCD/DVDは、使用前にフォーマットが必要です。次の手順でフォーマットを行ってください。

1 ドライブにフォーマットしたいCD/DVDをセットする

2 [マイ コンピュータ] を表示する

お願い 「DLA」を使うために

＊「DLA」を使うには、下記以外にもお願い事項があります。『困ったときは 2章 3 CD／DVDにデータのバックアップをとる』と合わせてご覧ください。

- Windows標準のCD書き込み機能や市販のライティングソフトウェアは使用しないでください。
- CD/DVDをフォーマットすると、CD/DVD上のすべてのデータが失われます。内容を確認のうえ、フォーマットしてください。
- 「DLA」はパケットライト形式での記録機能を備えたソフトです。「DLA」でフォーマット／書き込みしたメディアを他のパケットライトソフトでは使用しないでください。
  また、他のパケットライトソフトでフォーマット／書き込みしたメディアに、「DLA」で書き込みは行わないでください。他のパケットライトソフトでフォーマットしたメディアを「DLA」で使用する場合は、「DLA」で完全フォーマットを行ってから使用してください。
- ファイルやフォルダの「切り取り」→「貼り付け」は行わないでください。メディアやドライブに何らかの問題があった場合、もとのファイルやフォルダが消失することがあります。
- 「DLA」で書き込んだメディアを「DLA」がインストールされていないパソコンで読み出すには、メディアに「互換化」が必要です。詳しくは「DLA」のヘルプをご覧ください。
- 「DLA」でフォーマットされたメディア上にプログラムのセットアップファイルなどを保存し、そのメディア上からセットアップを実行しようとしたとき、エラーが発生することがあります。その場合は、セットアップに必要なファイルなどをいったんハードディスク上にコピーした状態で、ハードディスク上からセットアップを実行してください。

ヘルプの起動方法

「DLA」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

1 [スタート] → [すべてのプログラム] → [Sonic] → [DLA] → [DLAヘルプ] をクリックする

3 ［フォーマット］を選択する

①CD/DVDドライブのアイコンを右クリック

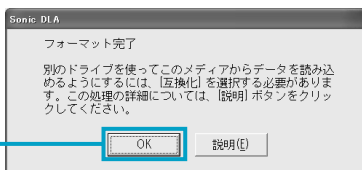
②［フォーマット］をクリック

4 フォーマットを実行する

①ボリュームラベル名を入力
ここでは「dynabook」と入力します。

③［開始］をクリック

②［完全］をクリック

「DLA」で初めてフォーマットするCD/DVDの場合は、［完全］を、2回目以降の場合は［クイック（消去）］を選択します。

5 メッセージを確認し、［はい］ボタンをクリックする

フォーマットの進行状況が表示されます。

6 ［OK］ボタンをクリックする

フォーマットが完了しました。

データをCD／DVDに書き込む

「DLA」でフォーマットしたCD/DVDにデータを書き込む方法を説明します。「DLA」では1枚のCD/DVDに繰り返し書き込むことができます。あらかじめ書き込みたいデータを準備し、ドライブにCD/DVDをセットしておいてください。

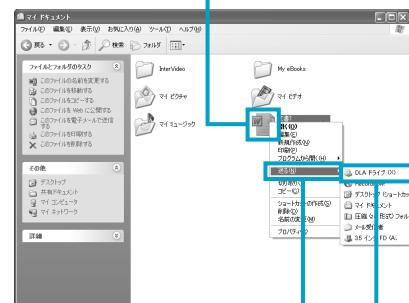
1 書き込みたいデータを表示する

ここでは、［マイドキュメント］に保存している「文書1」を表示します。

②［マイ ドキュメント］をクリック

①［スタート］をクリック

2 データをドライブにコピーする

①［文書1］を右クリック

②［送る］をクリック

③［DLAドライブ］をクリック

データが書き込まれます。

・データをCD/DVDのドライブにドラッグアンドドロップして、CD/DVDに書き込むこともできます。

メモ

「DLA」の問い合わせは、ソニック・サポートセンターへお願いいたします。詳細は、P9を確認してください。

DVDの映画や映像を観る

InterVideo WinDVD™ 5 for TOSHIBA

DVDの映画や映像を観るには、「InterVideo WinDVD」を使います。本製品では、DVD-Videoの再生ができます。

DVDを観る

ここでは、DVDの映像を観る方法を説明します。

お願い DVD-Videoの再生にあたって

- DVD-Videoの再生には、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他市販ソフトを使用してDVD-Videoを再生すると、表示が乱れたり、再生できないことがあります。このようなときは、「InterVideo WinDVD」を起動し、DVD-Videoを再生してください。
- DVD-Video再生ソフト「InterVideo WinDVD」は、Video CD、Audio CD、MP3の再生はサポートしていません。
- DVD-Video再生時は、なるべくACアダプタを接続してください。省電力機能が働くと、スムーズな再生ができないことがあります。バッテリ駆動で再生するときは「東芝省電力」で「DVD再生」プロファイルに設定してください。
- DVD-Videoを再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には他のアプリケーションを起動させたり、不要な操作は行わないでください。
  再生中に、常駐しているプログラムの画面やアイコンなどがちらつくときは、「InterVideo WinDVD」を最大表示にしてください。
- DVD-Videoの再生はRegionコード「2」、「ALL」のものをご使用ください。
- 外部ディスプレイまたはテレビに表示するときは、再生する前にあらかじめ表示装置を切り替えてください。また、マルチモニタ（本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイまたはテレビの同時表示）の設定では、外部ディスプレイまたはテレビに表示するための設定が必要です。
  本体液晶ディスプレイと外部ディスプレイにClone表示をしているときDVD-Videoを再生すると、画像がコマ落ちすることがあります。この場合は表示解像度を下げるか、本体液晶ディスプレイまたは外部ディスプレイのみに表示するか、拡張表示に設定してください。

  参照 表示装置の切り替え『応用にチャレンジ 3章 周辺機器の接続』

その他の注意については、「Readme」に記載しています。
「Readme」の起動は、[スタート] → [すべてのプログラム] → [InterVideoWinDVD] → [readme1st.txt] をクリックしてください。

3 「InterVideo WinDVD」が起動する

メインウィンドウ

メインウィンドウとWinDVDコントロールパネルが表示されるので、操作ボタンを使ってDVDの映像（DVD-Video）を観ましょう。

・本製品で再生できるのは、DVD-Videoです。Video CDとは異なります。DVDが入っていたパッケージやDVDの盤面に「DVD-Video」と記載されていることを確認してください。

WinDVDコントロールパネル

再生するDVD-Videoによっては、表示が一部異なる場合があります。また、操作ボタンの一部は、機能対応している場合のみ表示できます。

【「InterVideo WinDVD」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル：0570-00-3100（サポート料無料）
受付時間　：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

デジタルカメラの写真を編集する

FinePixViewer Lite for TOSHIBA（ファイン ピックス ビューワ ライト フォー トウシバ）

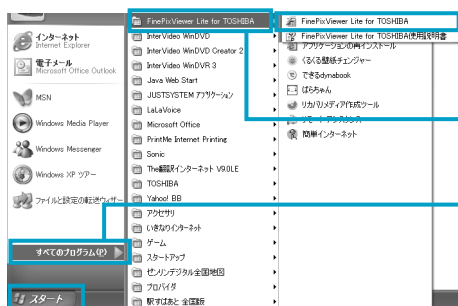
デジタルカメラで撮った写真などの画像を編集するには、「FinePixViewer Lite」を使います。文字を書き込むなどの編集操作を簡単に行うことができます。

写真を編集する

ここでは、デジタルカメラで撮った写真などの画像をパソコンにファイルとして取り込んだ状態で、編集をする場合について説明します。デジタルカメラからパソコンへの取り込みかたは、接続するデジタルカメラによって異なります。詳しくは、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。

1 起動する

① ［スタート］をクリック

② ［すべてのプログラム］をクリック

③ ［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

④ ［FinePixViewer Lite for TOSHIBA］をクリック

【初めて起動したとき】

［ソフトウェア使用許諾契約］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意します］ボタンをクリックしてください。

5 文字を入力する

① クリックして文字を入力

② フォント、色などを指定

6 文字を囲んでいる枠をドラッグして、位置を調整する

7 編集が完了する

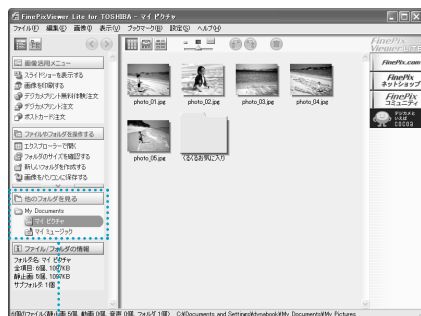
画像に文字が追加されました。

メモ

「FinePixViewer Lite」では、次のような画像の編集もできます。

- 画像の切り抜き：画像を切り抜きます。
- 画像の向きを変える：画像の向きを変更できます。
- 画質を調整する：明るさや色合いなどを調整したり、セピア／白黒、くっきり／ぼかしの加工ができます。
- 赤目を修正する：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。
- 画像サイズを変更する：画像のサイズを変更できます。

2 編集したい画像を表示する

初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ピクチャ］に保存されている画像を表示します。

他のフォルダに保存している画像を表示したい場合は、［他のフォルダを見る］欄で場所を指定してください。

3 画像を編集する

ここでは、画像に文字を追加します。

① 編集したい画像をクリック

② ［画像の切り抜き／文字入れ］をクリック

画面中央の作業領域に、画像が表示されます。

4 ［文字入れ］タブをクリックする

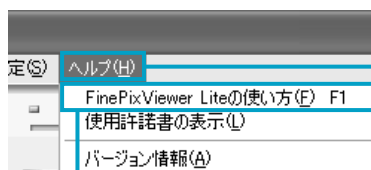
メモ

「FinePixViewer Lite」では、他にも次のようなことができます。

・ デジタルカメラの画像をパソコンに取り込む
・ 画像を印刷する
・ スライドショーを行う
・ インターネットを使ってデジカメプリントを注文する

など
詳細は、ヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

「FinePixViewer Lite」についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［FinePixViewer Liteの使い方］をクリック

【「FinePixViewer Lite」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル ：0570-00-3100（サポート料無料）
受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

写真を見やすく整理する

アドビ　フォトショップ　アルバム　ミニ
Adobe Photoshop Album 2.0 Mini

デジタルカメラで撮った写真などの画像を整理するには、「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」を使います。画像を画面上に好きな順番に並べ替えたり、パソコンに保存されている画像を検索することもできます。

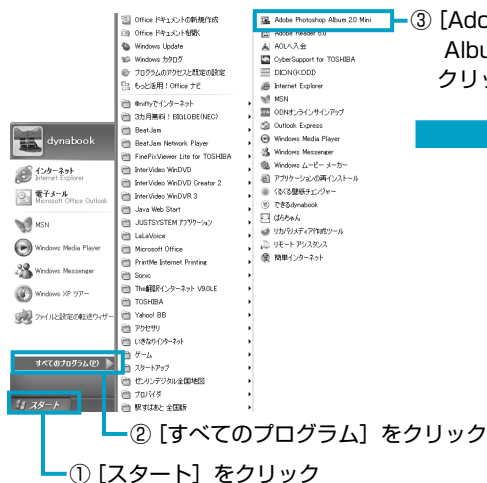
写真を整理する

ここでは、写真などの画像をパソコンに取り込んで、画面上に並べて表示する方法について説明します。

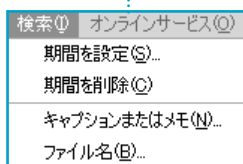
1 起動する

③［Adobe Photoshop Album 2.0 Mini］をクリック

②［すべてのプログラム］をクリック

①［スタート］をクリック

【初めて起動したとき】
［Adobeエンドユーザ使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。続けて、［製品の登録］画面が表示されます。ユーザ情報を登録してください。ユーザ登録を行うには、インターネットに接続できる環境とメールが受信できる環境が必要です。

5 画像を整理する

画像を好きな順番に並べ替えることができます。

期間やファイル名を指定して、画像を検索できます。

ここでは、期間を設定して、画像を検索してみましょう。メニューバーの［検索］→［期間を設定］をクリックすると、［期間を設定］画面が表示されます。検索対象の開始日と終了日を指定してください。

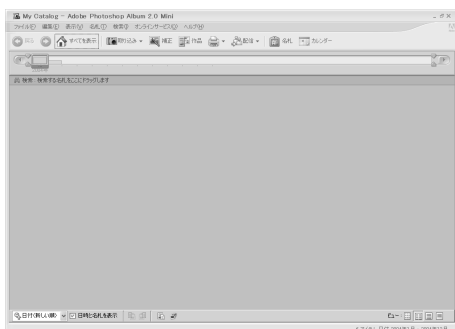
指定した期間に当てはまる画像のみが表示されました。

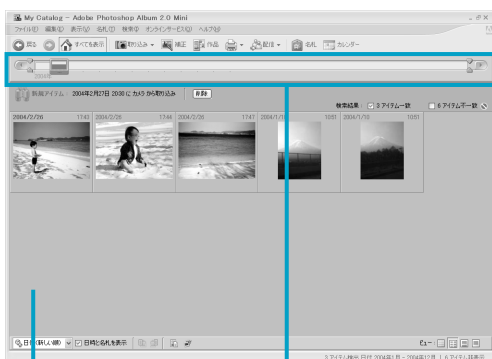
メモ

「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」では、次のような画像の補正もできます。

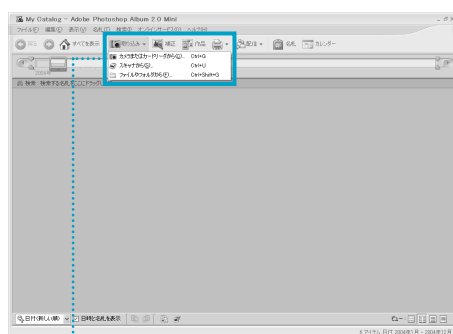
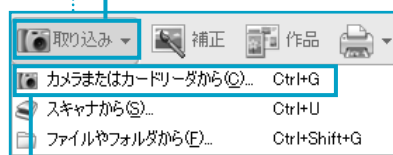
・ワンタッチ補正：画像をシャープにしたり、くすみを取ったりします。
・切り抜き　　　：画像の一部を切り抜きます。
・赤目修正　　　：フラッシュなどで赤目になっている画像を修正します。

2 デジタルカメラをパソコンに接続する、または画像が保存されている記憶メディアをパソコンにセットする

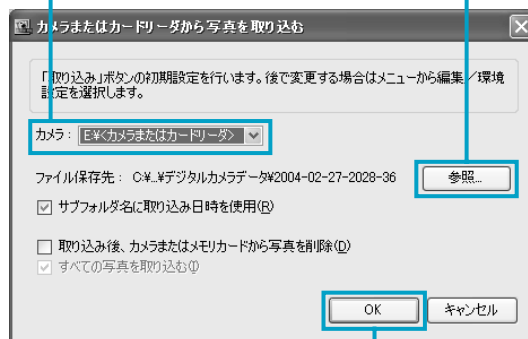
パソコンとデジタルカメラの接続方法は、『デジタルカメラに付属の説明書』を確認してください。記憶メディア（SDメモリカードなど）をセットする方法は、『応用にチャレンジ』を確認してください。

「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」が起動します。
『クイックガイド』が表示されます。ここでは ✕ をクリックして画面を閉じてください。

画像がパソコンに取り込まれました。

サムネールエリア
取り込んだ画像を自動整理して順番に並べて表示します。

タイムグラフ
バーを動かすだけで、撮影した日付ごとに画像を探すことができます。

3 画像をパソコンに取り込む

4 保存先を指定する

① [カメラまたはカードリーダ] を選択

② 画像の保存先を指定

③ [OK] ボタンをクリック

「サムネールエリアには、新しく取り込んだアイテムだけが表示されます。」というメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックしてください。

【「Adobe Photoshop Album 2.0 Mini」の問い合わせ先】

Adobe Photoshop Album support

サポート情報については、下記ホームページをご覧ください。
　ホームページ　：http://www.adobe.co.jp/support/products/photoshopalbum.html

●カタログのご請求、製品ご購入前の製品情報、製品購入に関するお問い合わせ
　（製品サポート窓口ではございません。「購入する」ための情報提供窓口です）
　カスタマーインフォメーションセンター
　TEL　　　：03-5350-0407
　受付時間　：9:30 〜17:30（土曜、日曜、祝日、指定休日を除く）
　＊操作に関する内容は東芝PCダイヤルへお問い合わせください。

テレビを見る／番組を録画する

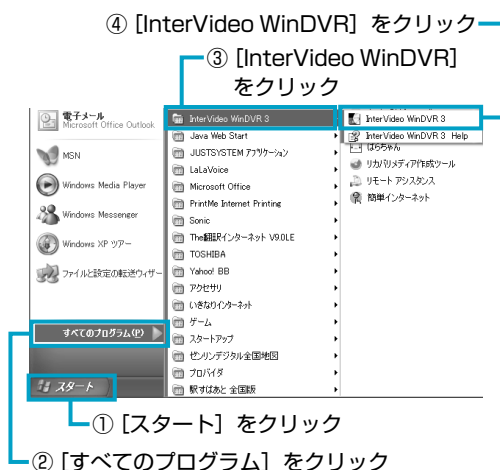
InterVideo WinDVR™ 3 for TOSHIBA

＊TVチューナ内蔵モデルのみ
パソコンでテレビを見たり、番組を録画するには「WinDVR」を使います。ビデオデッキやその他の映像機器の映像を見ることもできます。

パソコンでテレビを見る

ここでは、パソコンでテレビを見る方法について説明します。

1 テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

接続方法と使用上の注意については、『TVチューナ内蔵モデルをご購入のかたへ』を確認してください。

テレビだけでなく、ビデオデッキやその他の映像機器をパソコンに接続して、映像を見ることもできます。手順3で、［入力元］に［コンポジット］または［S-Video］を選択してください。
ビデオデッキなどの接続方法については、『ビデオデッキに付属の説明書』を確認してください。

2 起動する

① ［スタート］をクリック
② ［すべてのプログラム］をクリック
③ ［InterVideo WinDVR］をクリック
④ ［InterVideo WinDVR］をクリック

【「WinDVR」の起動（2回目以降）について】
2回目以降の起動時は、手順3〜8の画面は表示されず、直接テレビ画面が表示されます。チャンネル設定済みの場合は、そのままテレビを見ることができます。チャンネル未設定の場合は、P22【録画する前に品質を設定する】の手順①〜③で表示される［セットアップ］画面の［チャンネル］タブで設定が必要です。

メモ

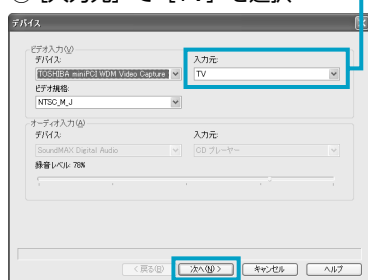
・「WinDVR」についての詳細は、「InterVideo WinDVR」のヘルプを確認してください。
・「WinDVR」を使って録画した番組を、「WinDVD Creator」で編集することもできます。

お願い　「WinDVR」の使用にあたって

- 「WinDVR」で録画されたテレビ番組などは、個人で楽しむ目的だけに使用できます。
- 「WinDVR」動作中は画面解像度、色数の設定変更を行わないでください。
- パソコンの電源がオフの場合、予約録画を実行できません。
- パソコンがログオフ状態の場合は、予約録画を実行できません。
- 予約録画を設定する場合は、必ず録画可能時間を確認してください。
- 必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。
バッテリ駆動で使用すると、バッテリの消耗などにより、録画が失敗したり、音が飛んだりするおそれがあります。
- 使用状況やシーンによっては映像がスムーズに再生されない場合があります。
- 著作権保護されているコンテンツは録画、および視聴することができません。
- ビデオデッキやその他の映像機器から映像を取り込んだとき、画面上部、または下部にノイズがのることがあります。これは「垂直帰線区間」と呼ばれる領域を表示しているために起きている現象で、異常ではありません。
- テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像を録画・取り込みし、編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator」の使いかたについては、「InterVideo WinDVR」のヘルプと「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプをご覧ください。

テレビ番組を録画予約するときは、iEPGサイトを利用しましょう。iEPGとは、インターネットを使用したテレビ番組録画予約方式のことで、ブラウザから番組を指定して録画予約することができます。本書では、ONTV JAPANのサイトを使って説明します。
ONTV JAPANはオンティービー株式会社が運営するEPGサービスサイトです。

3 入力元でTVを選択する

①［入力元］で［TV］を選択

②［次へ］ボタンをクリック

4 TVを見る国または地域を選択する

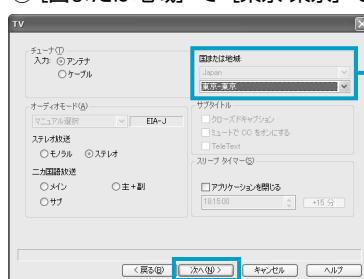
ここでは「東京」を選択します。

①［国または地域］で［東京-東京］を選択

②［次へ］ボタンをクリック

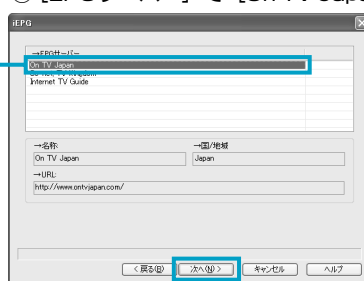
5 EPGサーバーを選択する

ここでは「ONTV JAPAN」を選択します。

①［EPGサーバー］で［On TV Japan］を選択

②［次へ］ボタンをクリック

6 チャンネルを設定する

①［オートスキャン］をクリック

受信可能なチャンネルを自動的に設定します。

7 表示しないチャンネルのチェックをはずす

①見ないチャンネルのチェックをはずす

②［次へ］ボタンをクリック

8 録画する番組の保存場所を指定する

初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ビデオ］に保存されるように設定されています。

①保存場所を指定

②［完了］ボタンをクリック

テレビ番組が表示されました。

テレビ番組を録画する

「WinDVR」でテレビ番組を録画する方法を説明します。

1 「WinDVR」を起動しておく

2 チャンネルを変える

3 ［録画］ボタンをクリックする

【録画する前に品質を設定する】

「WinDVR」では、サブパネルから録画するときの映像の品質を選択することができます。

① をクリック

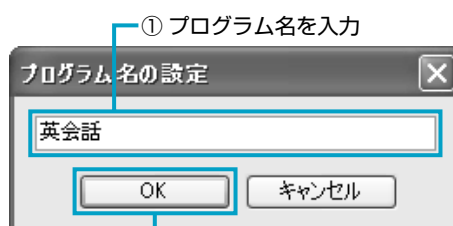
② ［TVパネル］または［全般パネル］をクリック

③ をクリック

④ ［録画品質］で目的にあった品質のプロファイルを選択する
［普通］、［良］、［最良］のどれかをチェックしてください。詳しくは右ページのメモを確認してください。

録画中はほかの番組を視聴することはできません。

4 番組が終わったら、［停止］ボタンをクリックする

5 プログラム名を入力する

【映像ファイルの画質と収録できる時間】

「WinDVR」でハードディスクに録画した映像ファイルを、「WinDVD Creator」を使ってDVDにすることができます。ハードディスクは長時間、映像ファイルを録画することができますが、ハードディスクやDVDは容量が決まっており、容量を超えた長さ（時間）の映像を録画することはできません。
ハードディスクに保存した映像ファイルをDVDにする場合、映像ファイルの大きさがDVDの容量を超えてしまうと、映像が途中で途切れたDVDが作成されます。P32「テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする」で、DVD2枚に分けるなどの作業を行ってください。

「WinDVR」では録画する前に映像の品質を［録画品質］の「プロファイル」から選択できます。「プロファイル」はビットレートと解像度などの組み合わせです。それぞれの値が大きいほど、録画した映像は高品質になります。また、ファイルのサイズも大きくなり、DVD1枚あたりに収録できる時間が短くなります。購入時の「プロファイル」は［良（Real-time Better)］です。

プロファイル	ビットレート	解像度	品質	DVD4.7GBあたりの収録可能な時間
普通（Real-time Good）	2.3Mbps	720×480	低	約3.9時間
良（Real-time Better）	4.4Mbps	720×480	↕	約2.0時間
最良（Real-time Best）	8.5Mbps	720×480	高	約1.0時間

＊「WinDVR」で選択できる主なプロファイルによる録画目安時間です。
＊ DVDの収録可能な時間は、「WinDVD Creator」の［ムービー作成］でフォーマットを［DVD（高品質)］にした場合の値です。
［DVD（標準)］の場合、「WinDVR」のプロファイルでは、ビットレートが4Mbpsに変換され、収録されます。
フォーマットの選択については、P31「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順14を確認してください。

番組を予約録画する

ここでは、iEPGサイトを利用して、テレビ番組を予約録画する方法を説明します。あらかじめ、インターネットに接続できる準備をしておいてください。

1 「WinDVR」を起動しておく

2 ［パネル］ボタンをクリックする

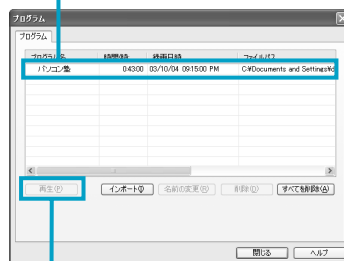
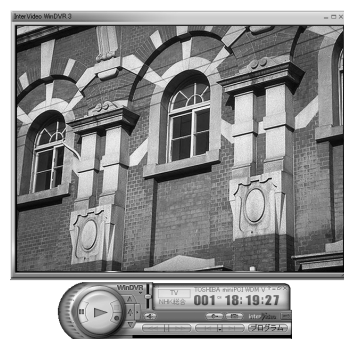
3 ［TV パネル］をクリックする

4 ［EPG］をクリックする

録画した番組を再生する

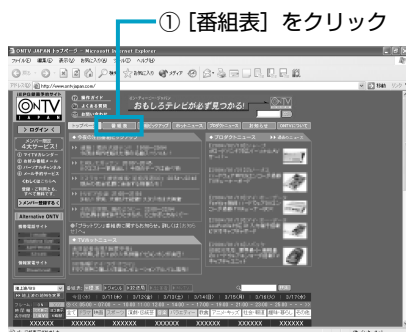
ここでは、録画したテレビ番組を再生する方法を説明します。

1 ［プログラム］ボタンをクリックする

2 再生する番組を選択する

再生できました。

メモ

・ビデオデッキやその他の映像機器で録画した番組をパソコンに取り込み、「WinDVR」で再生するときの手順も同様です。手順2で、録画した番組の一覧が表示されます。

5 番組表を表示する

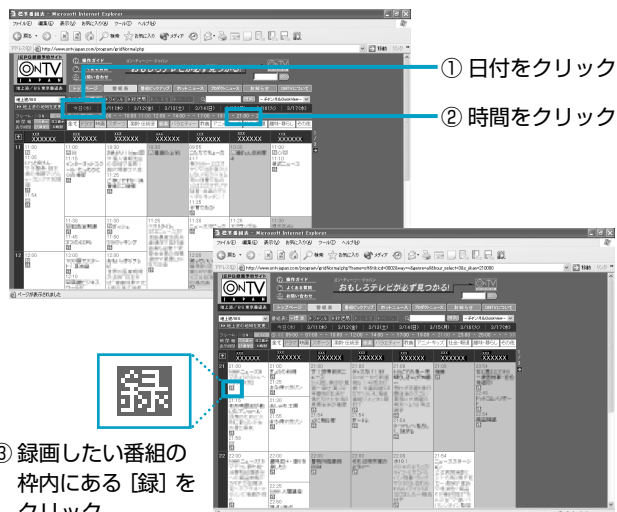
①［番組表］をクリック

ブラウザが起動してiEPGサイトが表示されました。ここで表示されるiEPGサイトは、P21「パソコンでテレビを見る」の手順5で選択したサイトです。

6 予約する日時を指定し、番組を選択する

ここでは、3月10日（今日）の21:00を指定します。

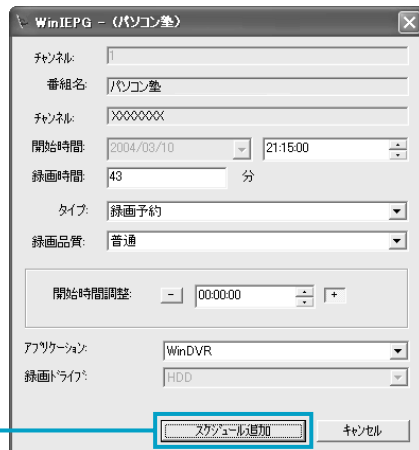
① 日付をクリック

② 時間をクリック

③ 録画したい番組の枠内にある［録］をクリック

または録画したい番組名をクリックし、表示された番組情報詳細ページで、［iEPG録画］ボタンをクリックしてください。

7 ［スケジュール追加］をクリックする

8 録画の予約が完了する

引き続き、他の番組の録画を予約したいときは手順6〜7をくり返してください。
予約したい番組の設定がすべて終わったら、iEPGサイトを閉じましょう。

メモ

テレビ番組の予約録画はパソコンが次の状態のときに行われます。

・ 電源が入っているとき
・ スタンバイ機能を実行しているとき
・ 休止状態のとき

このためパソコンの電源を切ったり、ログオフ状態にしないでください。

【「WinDVR」の問い合わせ先】

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポート期間はご購入後1年間となります。

TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月〜金　9:30〜17:00
（12:00〜13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）

映像を編集してDVDに残す

インタービデオ ウィンディーブイディー クリエイター ツー プラチナム フォー トウシバ
InterVideo WinDVD™ Creator 2 Platinum for TOSHIBA

映像を編集してDVDに残すには、「WinDVD Creator」を使います。録画したテレビ番組やデジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンで編集し、DVDに残すことができます。
＊DVDの作成は、DVDスーパーマルチドライブモデルのみ

録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする

ここでは、録画したテレビ番組や、あらかじめファイルにしておいたビデオ映像などをDVDに書き込む方法を説明します。

1 DVDにする映像ファイル（テレビ番組やビデオ映像のファイルなど）を用意する

あらかじめ「WinDVR」を使って映像ファイルを用意しておきます。操作についての詳細は、「InterVideo WinDVRのヘルプ」を確認してください。

2 起動する

① [スタート］をクリック
② [すべてのプログラム］をクリック
③ [InterVideo WinDVD Creator］をクリック
④ [InterVideo WinDVD Creator］をクリック

お願い　テレビ番組の取り込みについて

● テレビ番組、ビデオデッキやアナログのビデオカメラのテープの映像をハードディスクに取り込んで編集するときは、まず「WinDVR」を使用して映像を取り込み、その後「WinDVD Creator」で編集してください。「WinDVR」と「WinDVD Creator」の詳細については「InterVideo WinDVR」のヘルプと「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

お願い　「WinDVD Creator」の使用にあたって

● 「WinDVD Creator」はコンピュータ管理者のユーザで使用してください。
● 本製品にインストールされている「Windows Movie Maker 2」やその他の映像データを取り込むソフトウェアは使用しないでください。
● 「InterVideo WinDVD」などの映像を再生するアプリケーションが動作していると、編集中のプレビューが正しく表示されないことがあります。編集中は他のアプリケーションを終了してください。
● 編集中のプレビューは本体液晶ディスプレイにのみ表示されます。外部ディスプレイには表示されません。
● 著作権保護された映像が保存されているDVDの映像の編集は行えません。
● 著作権保護されているコンテンツは再生できません。
● 「WinDVD Creator」の動作中は、画像の解像度・色数の変更は行わないでください。
● バッテリ駆動で使用中に映像データの取り込みを行うと、バッテリの消耗などによって取り込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

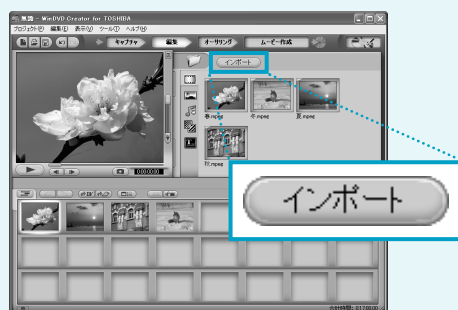
メモ

プロジェクトモードでのDVDの書き込みにおいて、サポートしているメディアは、次のとおりです。
・DVDスーパーマルチドライブモデル：DVD-RAM、DVD-RW、DVD-R、DVD+RW、DVD+R
　DVD+R DLメディアへの書き込みは、DVDスーパマルチドライブ（Double Layer対応）モデルのみサポートしています。
これらのメディアは、DVD-Videoフォーマットにて書き込むことができます。

「WinDVR」を使って用意した映像ファイルは、P21「パソコンでテレビを見る」の手順8で指定した場所に保存されています。初期状態では、［マイ ドキュメント］の［マイ ビデオ］フォルダに保存するように設定されています。

3 ［作成済みのビデオファイルをCD/DVDに作成］のボタンをクリックする

メモ

映像ファイルの取り込みは、編集を行っている最中にも行えます。

① ［インポート］をクリック

② ファイルを選択（本ページ手順4同様）

4 使用するファイルを選択する

① ファイルの保存場所を指定

② ファイルを選択
複数選択したいときは、CTRL キーを押したまま、ファイルをクリックします。

③ ［開く］ボタンをクリック

＊再生時間が24時間以上ある映像ファイルを取り込むことはできません。

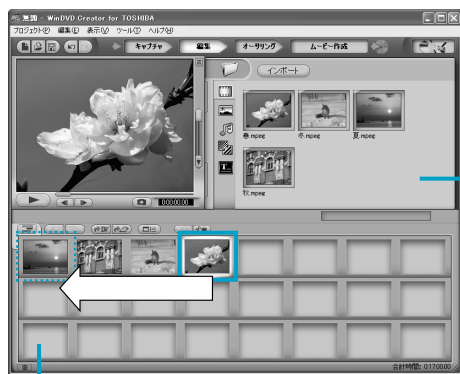
5 映像ファイルが取り込まれる

映像ファイルが取り込まれ、編集画面が表示されました。
以降、取り込まれた映像のことを「クリップ」と呼びます。

次は、編集を行います。

次のページへ

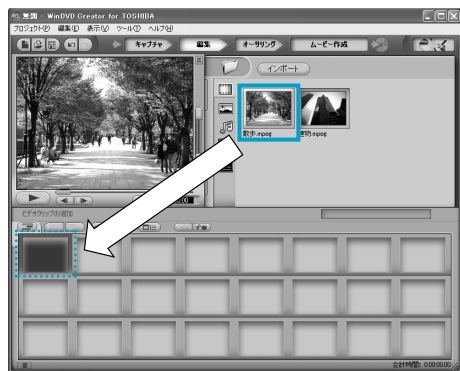
6 クリップを並び替える

ストーリーボードに表示されたクリップをドラッグアンドドロップして、書き込みたい順番に並び替えます。

メディアライブラリー
取り込んだ映像を表示します。

ストーリーボード
ここに並べた順に、DVDに書き込まれます。

クリップが並び替えられました。

編集は、取り込んだ映像の録画時間により、時間がかかることがあります。

P34「デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする」で、デジタルビデオカメラから直接映像を取り込んだ場合は、クリップがストーリーボードに表示されていません。メディアライブラリーに表示されているクリップを、ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

① クリップをストーリーボードにドラッグアンドドロップする

クリップがストーリーボードに並べられました。必要なクリップを順次ストーリーボードにドラッグアンドドロップしてください。

編集やDVDメニューを作る操作では、ここで説明している内容以外にも、次のような加工ができます。

- 編集の画面では映像（動画）だけでなく、画像（静止画）や音楽を追加することもできます。また、タイトルやトランジション エフェクトをクリップにかけることもできます。
- オーサリングの画面では、DVDメニューの背景画像を替えたり、文字の入力やボタンを変更することができます。

これらについての詳細は、「InterVideo WinDVD Creator」のヘルプを確認してください。

7 [オーサリング] をクリックする

次にオーサリングを行います。
オーサリングとは、DVDメニュー（タイトル画面）を作成する機能です。
ここではDVDメニューを付けてみましょう。

プレビュー画面
ここに表示されている画像がDVDメニューの画面になります。

オーサリングの画面に切り替わりました。
ここでは、あらかじめ用意されているDVDメニューを使います。

8 [オーサリングプレビュー] ボタンをクリックする

DVDメニューの動作を確認することができます。

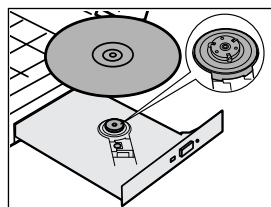
9 プレビュー画面で動作を確認する

作ったDVDメニューを確認できる画面に切り替わりました。確認の操作は、画面右のリモコンを使います。
この画面を閉じるときは、 ボタンをクリックしてください。

これで、切り出した映像を1つにまとめ、DVDメニューを作ることができました。

次はDVDに書き込みます
* ＊DVDに書き込むことができるのは、DVDスーパーマルチドライブモデルのみです。
* ＊ハードディスクに書き出すこともできます。

次のページへ

10 ドライブにDVDをセットする

ここでは、DVDディスクに直接書き込む方法を説明します。ハードディスクに書き出す場合は、手順10の作業を行う必要はありません。

11 [ムービー作成]をクリックする

お願い　DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて

【DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しを行うにあたって】

● バッテリ駆動で使用中に書き込みを行うと、バッテリの消耗などによって書き込みに失敗するおそれがあります。必ずACアダプタを使用してパソコン本体を電源コンセントに接続してご使用ください。

● 書き込みを行うときは、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。また、スタンバイや休止状態を実行しないでください。

参照 省電力の設定について『応用にチャレンジ 4章 バッテリ駆動』

● 次に示すような、ライティングソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。
・スクリーンセーバ　　・ディスクのアクセスを高速化する常駐型ユーティリティ
・ウイルスチェックソフト　　・モデムなどの通信アプリケーション　　など
ソフトウェアによっては動作の不安定やデータの破損の原因となるので、使用しないことを推奨します。

● タッチパッドを操作する、ウィンドウを開く、ユーザを切り替える、画面の解像度や色数の変更など、パソコン本体の操作は行わないでください。

● 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、USB対応機器、外部ディスプレイ、テレビ、i.LINK対応機器、SDメモリカード、メモリースティック、xD-ピクチャーカード™、マルチメディアカード、スマートメディア、光デジタル対応機器、ビデオ入力コネクタに接続する機器

● パソコン本体から、携帯電話および他の無線通信装置を離してください。

【作成したDVDについて】

● 作成したDVDは、一部の家庭用DVDビデオレコーダやパソコンでは再生できないこともあります。また、作成したDVD+R DLメディアを再生するときは、DVD+R DLメディアの読み取りに対応している機器を使用してください。

● 作成したDVDを本製品で再生するときは、「InterVideo WinDVD」を使用してください。「Windows Media Player」やその他の市販ソフトを使用して再生すると、表示が乱れたり、再生できない場合があります。

【映像データをDVDに書き込む前に】

● DVDに書き込みを行うときには、それぞれの規格に準拠したメディアを使用してください。また、推奨するメーカのメディアを使用してください。なお、再生する機器に応じて、その機器の取扱説明書でも推奨されるメディアを使用してください。
守らずに使用すると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ドライブへのショックなど本体異常や、メディアの状態などによっては処理が正常に行えず、書き込みに失敗することがあります。

● 本製品に付属の「WinDVD Creator」以外の映像データライティングソフトウェアは動作保証していません。

【「WinDVD Creator」のムービー作成について】

● ムービー作成では－VRフォーマット、＋VRフォーマットでの書き込みはできません。

● DVD-AudioやVideo CD、miniDVDを作成することはできません。

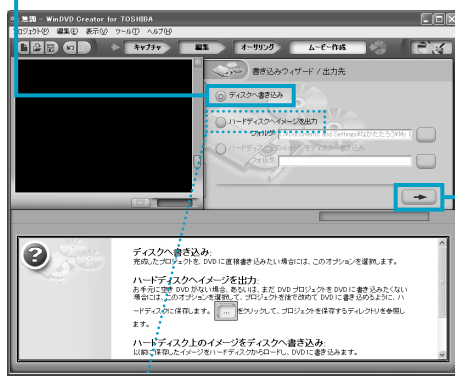
● DVD-RAMにDVD-Videoフォーマットで記録できますが、作成されたメディアは本製品にインストールされている「InterVideo WinDVD」でのみ再生可能となります。

● DVDへ書き込みを行うには、映像データのサイズの約2.5倍以上の空き容量がハードディスクに必要です。あらかじめハードディスクの空き容量を確認してください。使用する映像ファイルや編集のしかたによって、必要な空き容量が異なります。

● DVDに映像データを書き込む場合、映像データの大きさや編集のしかたによってはデータの変換に数時間かかることがあります。

12 出力先を設定する

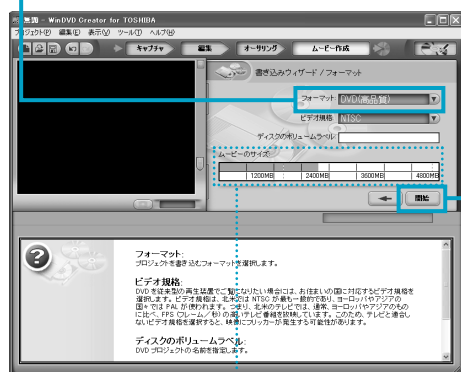
① ［ディスクへ書き込み］をチェックする

② をクリック

ハードディスクに書き出す場合は、［ハードディスクへイメージを出力］をチェックし、［フォルダ］欄で書き出す場所を指定してください。

13 をクリックする

14 フォーマット（画質）を選択し、［開始］ボタンをクリックする

① フォーマットを選択
通常は［DVD（高品質）］を選択してください。

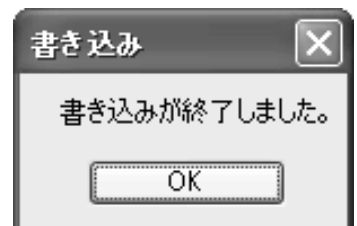
② ［開始］ボタンをクリック

［ムービーのサイズ］のメーターがDVDの容量を超えている場合は、P32「テレビ番組を2つにわけて別々のDVDにする」を参考にして、映像ファイルを2枚のDVDにするか、いらない部分を削除してください。

＊ メーターはあくまで目安です。メーターを超えていない場合でも、DVDの容量を超えて「オーサリングエラー」が表示されることがあります。

すでにデータが書き込まれているDVD-RAM、DVD-RW、DVD+RWをドライブにセットした場合は、次のようなメッセージが表示されます。

データを削除して、DVDに書き込んでもよい場合は、［OK］ボタンをクリックしてください。

15 映像の書き込みが始まる

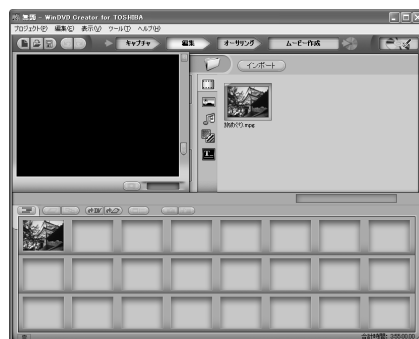
16 書き込みが終了し、［OK］ボタンをクリックする

書き込みが終了するとドライブのディスクトレイが自動的に開きます。

テレビ番組を2つに分けて別々のDVDにする

「プロファイル」の初期設定で録画した映像ファイルはDVD1枚あたり、[DVD HQ]（WinDVD Creator）で1時間弱、[良（Real-time Better）]（WinDVR）で2時間弱、収録できます。長い時間録画したテレビ番組や映像ファイルがDVDの容量を超えていると、1枚のDVDに収まりません。2枚のDVDに収まるように映像ファイルを切り分けます。
ここではWinDVRの「プロファイル」の初期設定で録画した4時間弱の映像ファイルを半分に分け、2枚のDVDにする操作を説明します。

＊ DVD1枚とは4.7GB1層のDVDメディアを指しています。DVD-RAMで両面あるメディアの場合は、片面ずつ映像を書き込むことができます。
＊ 4.7GBのDVDメディアに書き込める映像データは4.0GB（DVD+R DLメディア（8.5GB）の場合、7.0GB）です。

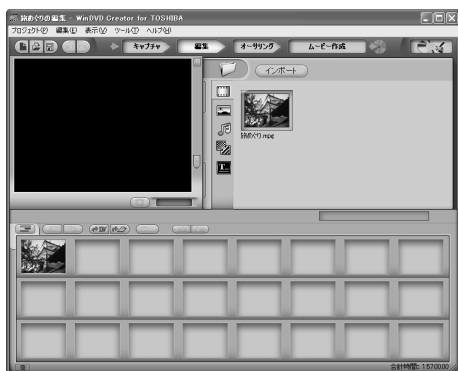
1 ビデオファイル（TV番組やビデオ映像のファイルなど）を取り込む

P26～P27「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順1～4と同じ操作です。

映像ファイルが取り込まれました。

4 後半（2つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す

③［いいえ］をクリック

④［プロジェクト］をクリック

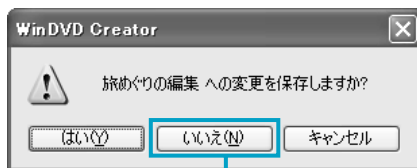
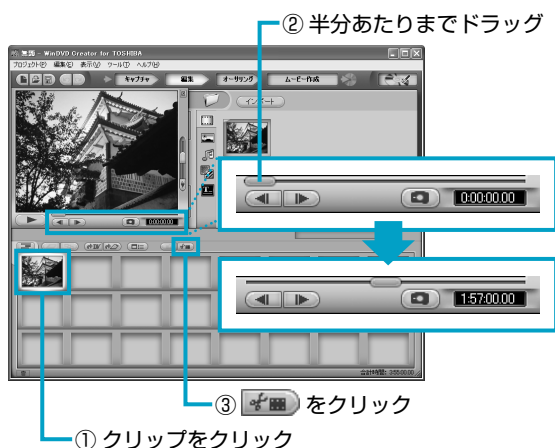
旅めぐりの編集 − WinDVD Creator for
プロジェクト(P) 編集(E) 表示(V) ツール(T)
プロジェクトの新規作成(N)... Ctrl+N
プロジェクトを開く(O)... Ctrl+O
プロジェクトを保存(S) Ctrl+S
プロジェクトに名前を付けて保存(A)...

⑤［プロジェクトを開く］をクリック

クリップの前半部分が残ります。これをDVD（1枚目）にします。P29～P31「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順7～手順16と同じ操作です。

映像ファイルの後半部分をDVDにします。

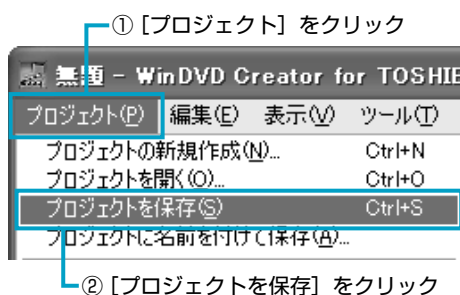
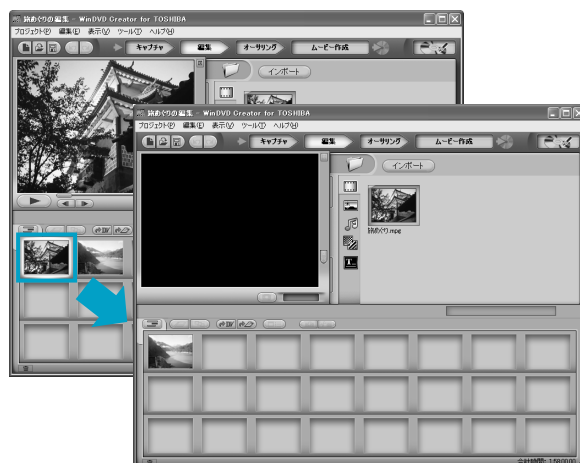
5 手順3で保存したファイルを開く

①［プロジェクト］をクリック

②［プロジェクトの新規作成］をクリック

2 半分の長さでビデオファイルを分ける

メ モ

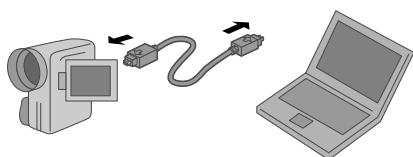
ストーリーボード上のクリップをダブルクリックすると、クリップの時間を調整するトリミングメニュー画面が表示されます。

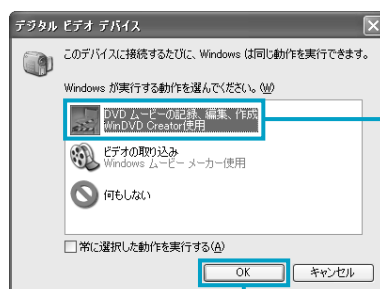
クリップが2つに分かれました。

3 ファイルに保存する

6 前半（1つ目）のクリップをクリックし、DEL キーを押す

クリップの後半部分が残ります。これをDVD（2枚目）にします。P29～P31「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」手順7～手順16と同じ操作です。

デジタルビデオカメラで撮影した映像をDVDにする

ここでは、デジタルビデオカメラで撮影した映像をパソコンに取り込んで、DVDにする方法を説明します。

1 デジタルビデオカメラをパソコンに接続し、電源を入れる

デジタルビデオカメラの接続と電源の入れかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

2 動作を指定する

① [DVDムービーの記録、編集、作成 WinDVD Creator使用]をクリック

② [OK] ボタンをクリック

4 別のカット（映像）を切り出したい場合は、手順3をくり返す

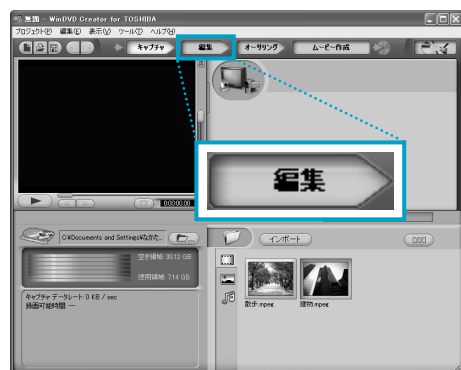
ここでは、全部で2つのカットを取り込みます。

複数のテープから映像を取り込みたい場合は、テープを入れ替えて手順3をくり返してください。

インポート をクリックすると、あらかじめパソコンに保存されている映像ファイルを取り込むことができます。詳細は、P26「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」を確認してください。

5 デジタルビデオカメラの電源を切り、パソコンと接続しているケーブルを取りはずす

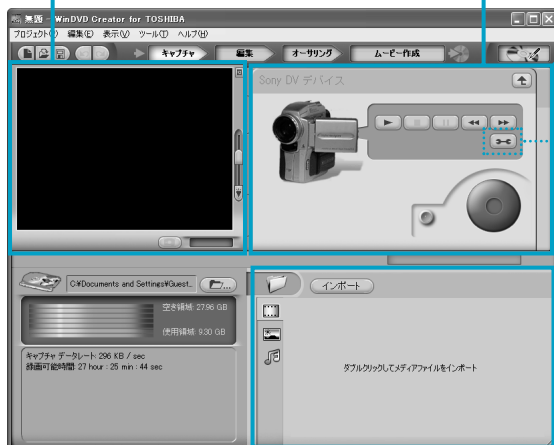
デジタルビデオカメラの電源の切りかたと接続ケーブルの取りはずしかたは、『デジタルビデオカメラに付属の説明書』を確認してください。

6 [編集] をクリックする

編集の画面に切り替わります。
以降の操作は、P28「録画したテレビ番組や映像ファイルをDVDにする」の手順6に進んでください。

3 編集したい部分を切り出して取り込む

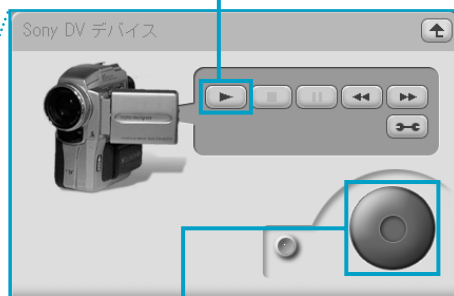
「WinDVD Creator」が起動します。

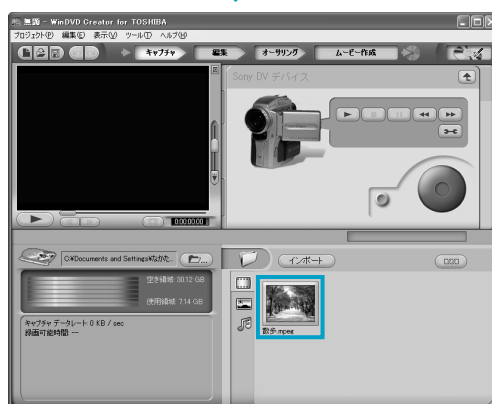
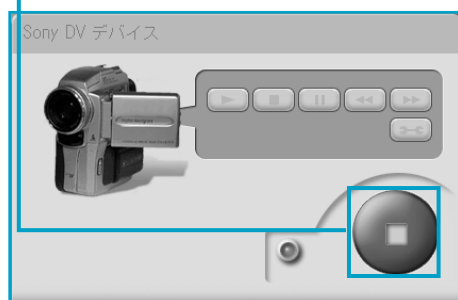
コントロール画面
映像の再生や停止、録画などを操作する画面です。

プレビューウィンドウ
再生中の映像を表示します。

メディアライブラリー
編集に使うファイルを管理します。取り込んだ映像は、ここに表示されます。

 ボタンをクリックすると映像ファイルの録画品質を設定する画面が表示されます。
フォーマットとプロファイルで選択してください。

フォーマット	プロファイル
MPEG	DVD HQ（品質高）
	DVD GQ（品質良）
	DVD SP（標準再生）
	DVD LP（長時間再生）
	DVD EP（拡張再生）
AVI DV	DV AVI

① ［再生］ボタンをクリック

② DVDに残したい映像になったら［録画］ボタンをクリック

③ 取り込みが終わりまでできたら、［停止］ボタンをクリック

ビデオライブラリーに映像が表示され、映像が取り込まれました。

【「WinDVD Creator」の問い合わせ先】

インタービデオジャパン　ユーザーサポート

お問い合わせの前にホームページ（http://www.intervideo.co.jp/）のサポートページをご確認ください。
当製品の無償サポート期間は、ご購入後1年間となります。

TEL　：045-226-3899
FAX　：045-226-3895
ホームページ：http://www.intervideo.co.jp/
E-mail　：techsupp@intervideo.co.jp
受付時間　：月〜金　9:30〜17:00
（12:00〜13:30および土、日、祝祭日、特定休業日は休み）

テレビ番組をDVDに直接録画する

イ ン タ ー ビ デ オ ウィンディーブイディー クリエイター ツー プ ラ チ ナ ム フォー ト ウ シ バ
InterVideo WinDVD™ Creator 2 Platinum for TOSHIBA

＊テレビ番組、ビデオデッキやその他の映像機器の映像の直接録画は、TVチューナ内蔵モデルのみ
＊デジタルビデオカメラの映像の直接録画は、DVDスーパーマルチドライブモデルのみ
「WinDVD Creator」では、パソコンでテレビを見ながら、番組をDVDに直接録画（DVDダイレクトレコーディング）することができます。デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器の映像を直接ダビングすることもできます。この方法を使うと、パソコンのハードディスクに保存してからDVDに書き込むという手間が必要ありません。

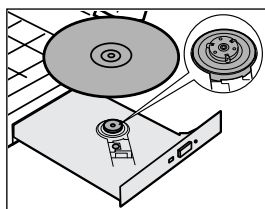
テレビ番組をDVDに直接録画（DVDダイレクトレコーディング）する

ここでは、パソコンでテレビを見ながら、番組をDVDに直接録画する方法について説明します。

1 テレビアンテナを、アンテナF型変換ケーブルを使ってパソコンに接続する

接続方法と使用上の注意については、『TVチューナ内蔵モデルをご購入のかたへ』を確認してください。

テレビだけでなく、デジタルビデオカメラ、ビデオデッキやその他の映像機器をパソコンに接続して、映像をDVDに直接ダビングすることもできます。
手順1で機器をパソコンに接続し、手順6で映像を再生しながら録画してください。
機器の接続方法については、『ビデオデッキなどに付属の説明書』を確認してください。

2 ドライブにDVDをセットする

メモ

次のメディアをサポートしています。
・DVDスーパーマルチドライブモデル
：DVD-RAM、DVD-RW

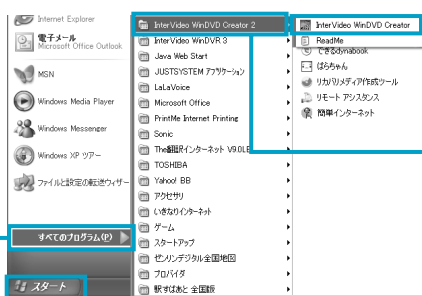
お願い　DVDへの直接録画について

＊DVDを作るには、下記以外にもお願い事項があります。P26「映像を編集してDVDに残す-「WinDVD Creator」の使用にあたって」、P30「映像を編集してDVDに残す-DVDへの書き込み／ハードディスクへの書き出しについて」と合わせてご覧ください。

● 直接録画できる時間は、録画品質によって異なります。品質は、手順6で［プロパティ］ボタンをクリックし、［録画］タブの［録画プロファイル］で選択してください。それぞれの品質で、4.7GBのDVDに録画できる時間の目安は次のとおりです。
　・DVD HQ（品質高）　：最大約60分　　　・DVD GQ（品質良）　：最大約80分
　・DVD SP（標準再生）：最大約100分　　・DVD LP（長時間再生）：最大約160分
　・DVD EP（拡張再生）：最大約210分
　ディスクがいっぱいになると録画は停止します。ディスク容量を超えるような長時間録画を行う場合は、P20「テレビを見る／番組を録画する」を確認して「WinDVR」でハードディスクに録画してください。
● フォーマットが必要なDVDをセットすると、手順4の後でメッセージが表示されますので、フォーマットを行ってください。「DLA」でフォーマットしたDVDは形式が異なりますので、改めてフォーマットが必要です。フォーマットを行うと、そのDVDに保存されていた情報はすべて消去されます。
● DVDへの直接録画では、DVD-RAMに-VRフォーマット、DVD-RWにDVD-Videoフォーマットで書き込みできます。DVD-RWに直接録画すると、「WinDVD Creator」（ディスクマネージャ）の終了時に、ファイナライズについてのメッセージが表示されます。DVDプレーヤなどで再生したい場合は、［はい］ボタンをクリックしてファイナライズを行ってください。

3 起動する

④［InterVideo WinDVD Creator］をクリック

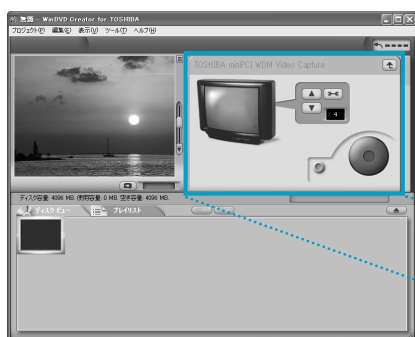
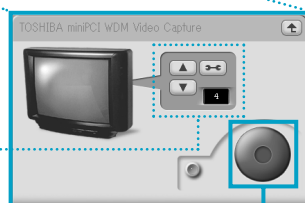
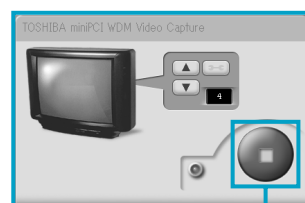
③［InterVideo WinDVD Creator］をクリック

①［スタート］をクリック

②［すべてのプログラム］をクリック

4 ［DVDディスクに直接ビデオをキャプチャする］ボタンをクリックする

5 ［キャプチャ］ボタンをクリックする

6 番組を見ながら、録画する

テレビ番組が表示されます。
映像機器の一覧が表示された場合は、テレビのアイコンを選択してください。

チャンネルの選択や録画の設定などはここで行います。
ビデオデッキやその他の映像機器の映像を表示するには、［プロパティ］ボタン（）をクリックし、［デバイスコントロール］タブの［ビデオソース］を変更してください。

① 録画したいシーンで、［録画］ボタンをクリック

② 停止したいシーンで、［停止］ボタンをクリック

メッセージが表示されます。
しばらくお待ちください。

ディスクビューに映像が表示され、DVDに直接録画できました。

メモ

- 「WinDVD Creator」の詳細については、ヘルプを確認してください。
- 「WinDVD Creator」の問い合わせは、インタービデオジャパン ユーザーサポートへお願いいたします。詳細はP35を確認してください。

文書や表、メールを作る

Microsoft® Office Personal Edition 2003

＊Office搭載モデルのみ

Microsoft® Office Personal Edition 2003には、次のアプリケーションが含まれています。

- Microsoft® Office Word 2003（ワープロソフト）
- Microsoft® Office Excel 2003（表計算ソフト）
- Microsoft® Office Outlook® 2003（電子メール／スケジュール管理ソフト）

案内状や報告書を作る（Microsoft® Office Word 2003）

Word 2003は、きれいに体裁を整えた文書を作ることができるワープロソフトです。文字の種類や大きさを決めたり、文書に表やさし絵を入れたり、他のソフトで作った画像やグラフを貼り付けたりすることができます。書類作成などで大変役立ちます。

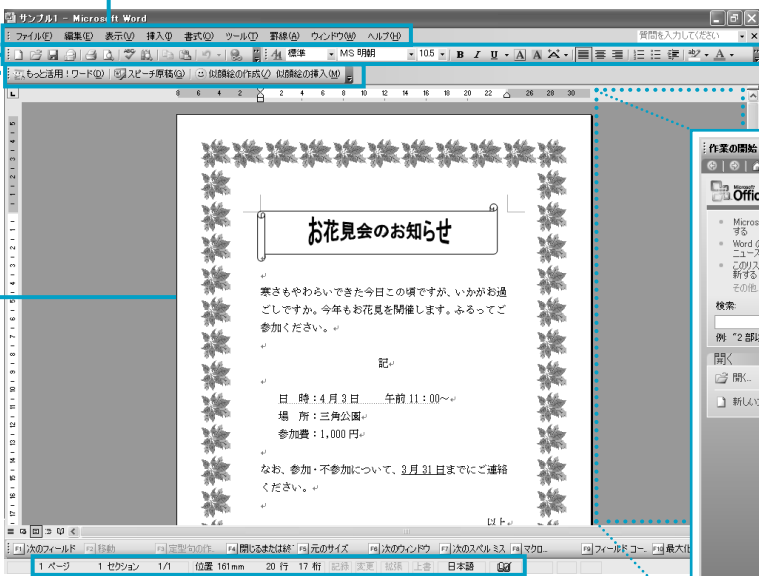
Word 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

Home Styleツールバー
Word 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

作業ウィンドウ＊
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Word 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、 × をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

文書ウィンドウ

ステータスバー
Word 2003の作業状態がわかります。

起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Word 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

Word 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Office Word ヘルプ］をクリック

表やグラフを作る（Microsoft® Office Excel 2003）

Excel 2003は、見積書や請求書、数字の多い報告書などを作成できる表計算ソフトです。項目や数字を入力して表を作り、計算式を設定すると自動的に計算を行うことができます。合計、平均、パーセント、標準偏差などの計算が可能です。また、入力した数字からグラフを作ることもできます。

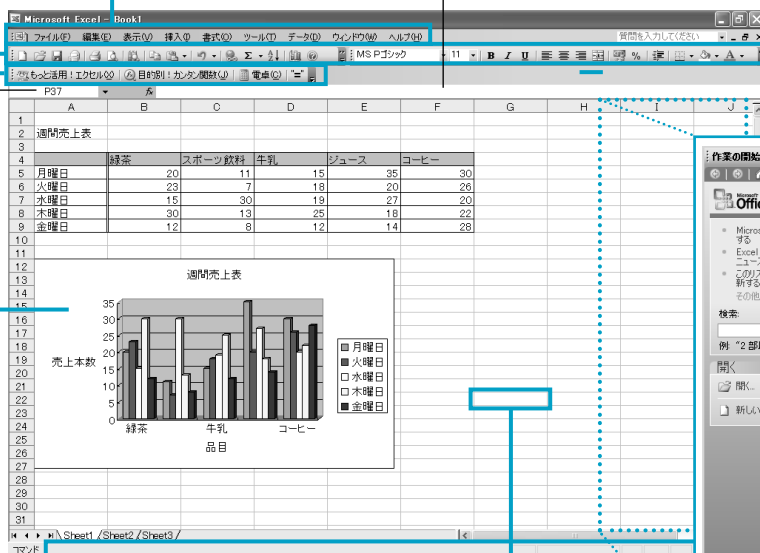
Excel 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

名前ボックス
セル番地（列番号＋行番号）で選択しているセルの位置などを表示します。

Home Styleツールバー
Excel 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。クリックするだけで機能を実行できます。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

数式バー
セルの内容（数値、数式、文字）を表示します。

作業ウィンドウ*
よく使うファイルや機能がまとめてあります。作業ウィンドウの内容は、状況に合わせて自動的に変更されます。

＊Excel 2003起動時に表示されます。画面が狭く感じられる場合は、× をクリックしてウィンドウを閉じましょう。

ワークシート

セル
ワークシートを構成するマスのことです。ここに数値、数式、文字を入力します。

ステータスバー
Excel 2003の作業状態がわかります。

起動方法

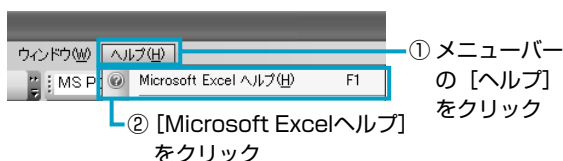
起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Excel 2003］をクリックする

ヘルプの起動方法

Excel 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

② ［Microsoft Excelヘルプ］をクリック

メールをしたい（Microsoft® Office Outlook® 2003）

Outlook 2003は電子メールをはじめとして、予定表・連絡先・仕事の情報・Webサイトへのアクセスなどを管理できるスケジュール管理ソフトです。
ここでは、電子メールの機能について簡単に紹介します。

Outlook 2003は、プロバイダとの契約やメールの設定などが完了してから使用してください。設定内容の詳細については、契約したプロバイダに問い合わせてください。プロバイダによっては、Outlook 2003をメールソフトとして使用できない場合がありますので、契約するプロバイダが対応しているかどうか、確認してください。

Outlook 2003を起動すると、次の画面が表示されます。

Home Styleツールバー
Outlook 2003をさらに活用することができる「Microsoft® Office Home Style+」のツールバーです。

メニューバー
項目別に機能が収められています。クリックすると、操作のメニューが表示されます。

ツールバー
よく使う機能のボタンが集められています。表示されるボタンは、選択されているフォルダによって異なります。

閲覧ウィンドウ
選択したメールフォルダの内容が表示され、メールを閲覧することができます。

ステータスバー
Outlook 2003の状態を表示します。

ナビゲーションウィンドウ
［メール］ボタンをクリックすると、ウィンドウ上側にメールフォルダが表示されます。

起動方法

起動方法は、次のとおりです。

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［Microsoft Office］→［Microsoft Office Outlook 2003］をクリックする

初めてOutlook 2003を起動したときは、［Outlook 2003 スタートアップ］画面が表示されます。
画面に従って操作してください。

ヘルプの起動方法

Outlook 2003についての詳細は、ヘルプを確認してください。起動方法は、次のとおりです。

① メニューバーの［ヘルプ］をクリック

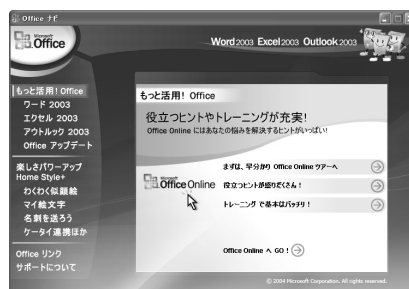
② ［Microsoft Office Outlookヘルプ］をクリック

Home Style+(ホームスタイルプラス)を活用する

「Microsoft® Office Home Style+」は、Office Personal 2003にさまざまな機能を追加するソフトウェアです。Home Styleツールバーに、Office Personal 2003と連携した機能をナビゲートするメニューが表示されます。

① Office Personal 2003起動後、Home Styleツールバーの［もっと活用！ワード］、［もっと活用！エクセル］、［もっと活用！アウトルック］ボタンをクリックする
　表示されるボタン名は、起動したアプリケーションによって異なります。
② 知りたい項目をクリックする
　ヘルプが表示されます。

Home Style+をより詳しく知りたいときは、「もっと活用！Office」を確認してください。
① ［スタート］ → ［すべてのプログラム］ → ［もっと活用！Officeナビ］をクリックする
② 使いたい機能のボタンをクリックする
　機能のヘルプやウィザードが表示されます。

Service Pack 1aがインストールされていない場合は、［スタート］ → ［すべてのプログラム］ → ［Microsoft Office Home Style+ ガイド］をご参照ください。

【初めて Office Personal 2003を起動したとき】

・ Office Personal 2003のいずれかのアプリケーションを初めて起動したときは、［ユーザー名の指定］画面と［Microsoft Office 使用許諾契約書］画面が表示されます。使用許諾契約書に同意して使用してください。

【再セットアップしたとき】

・ 再セットアップでは、Office Personal 2003は復元されません。Windowsのセットアップが終了した後に、『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』をよく読んで、復元してください。また、ライセンス認証を行う必要があります。詳細は『困ったときは 4章 再セットアップ』を確認してください。
・ 再セットアップ後、Office Personal 2003を復元する前にメールソフトを起動すると、Outlook Expressが起動します。Office Personal 2003の復元後は、Outlook 2003が起動します。

【最新アップデート情報】

・ Office Personal 2003の最新アップデート情報については、http://office.microsoft.com/OfficeUpdate/でご確認ください。
　なお、Home Style+のアップデートを行う場合は、Home Style+がインストールされている必要があります。

【「Word 2003／Excel 2003／Outlook 2003／Home Style+」の問い合わせ先】

マイクロソフト 無償サポート

<TEL>
　TEL：東京：03-5354-4500
　　　　大阪：06-6347-4400
　※次の情報をお手元に用意してご連絡ください。
　郵便番号、ご住所、お名前、電話番号、お問い合わせ製品のプロダクトID
　詳細は、製品添付の「パッケージ内容一覧」をご覧ください。

<ホームページ>
　ホームページ：http://support.microsoft.com/
　※電話サポート（無償）もしくは、製品サポートからお問い合わせになる製品をお選びください。
　備考　　：マイクロソフトサポートWeb上から直接インターネットを通じてお問い合わせも可能です。
　答えてねっと：http://www.kotaete-net.net/

<受付時間・お問い合わせ回数>
● セットアップ、インストールに関するお問い合わせ
　受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　　　　　　　10:00～17:00（土曜日、日曜日）
　　　　　　　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く。日曜日が祝祭日の場合は営業いたします。その場合、振替休日は休業させていただきます）
　回数　　　：指定はございません。

● 基本操作に関するお問い合わせ
　受付時間　：9:30～12:00、13:00～19:00（平日）
　　　　　　　10:00～17:00（土曜日）
　　　　　　　（マイクロソフト株式会社休業日、年末年始、祝祭日を除く）
　回数　　　：4インシデント（4件のご質問）
インシデント制など詳細については『Microsoft® Office Personal Edition 2003 スタート ガイド』の「お問い合わせについて」をご覧ください。

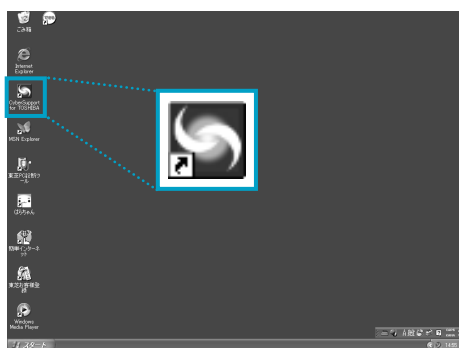
サイバーサポートを使う

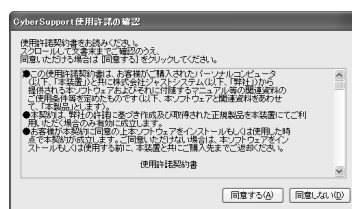
サイバー　サポート　フォー　トウシバ
CyberSupport for TOSHIBA

わからないことを調べるには、「サイバーサポート」を使います。「サイバーサポート」では質問を入力して検索したり、Q&A集や用語集を確認することができます。また、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」に本製品に関する新着情報があるかどうかを確認することもできます。

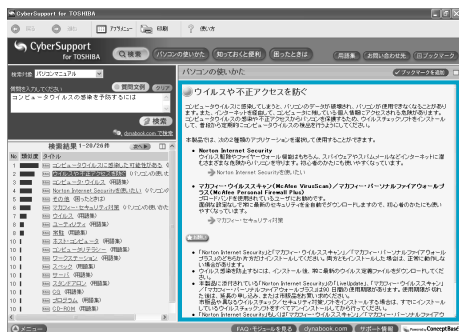
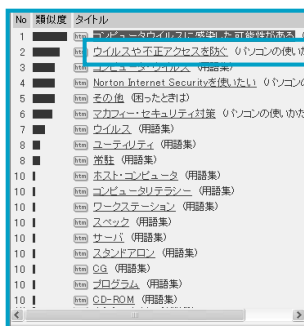
サイバーサポートで調べる

ここでは、質問を入力して、わからないことを調べる方法を説明します。

1 ［CyberSupport for TOSHIBA］アイコンをダブルクリックする

【初めて起動したとき】

［使用許諾の確認］画面が表示されます。使用許諾契約に同意のうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。

5 見たい項目をクリックする

手順5の後で［トピックの検索］画面が表示される場合は、［表示］ボタンをクリックしてください。

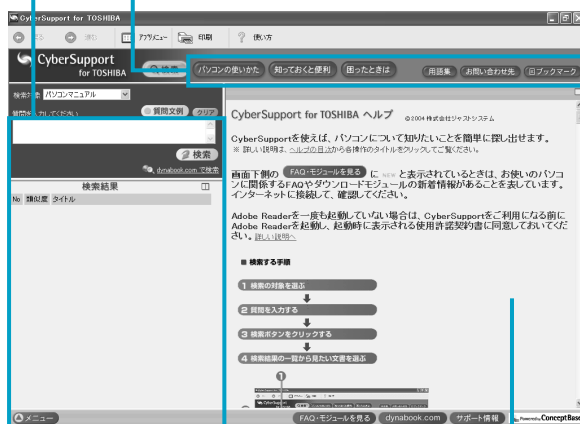
6 検索が完了する

項目の内容が表示されます。

サイバーサポートってどんなもの？

サイバーサポート（「CyberSupport for TOSHIBA」）を使うと、次のようなことができます。
① わからないことや知りたいことを検索できる（ヘルプ機能）
② 目的に合ったアプリケーションを簡単に起動できる
③ パソコンの使いかたや知っておくと便利なこと、用語集などを確認することができる

①は、質問を入力すると、Windowsやアプリケーションのヘルプなど、総合的な情報の中から関連する項目を探し出して表示します。
さらにインターネットに接続して、東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」の「よくあるご質問（FAQ）」などに掲載されている情報の中から探し出すこともできます。
②は、やりたいことはわかっているけれど、どのアプリケーションを使えばよいかわからないときに便利な機能です。用途別に分類されているメニューの中から、目的に合ったアプリケーションを起動することができます。

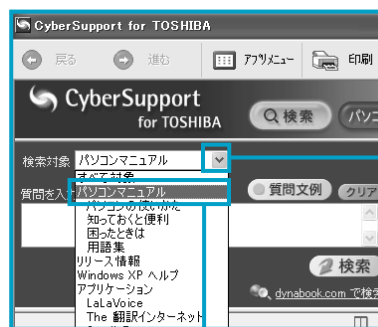
2 「dynabook.com」の新着情報を確認する場合は［はい］ボタンをクリックする

確認する必要のない場合は、［いいえ］をクリックしてください。

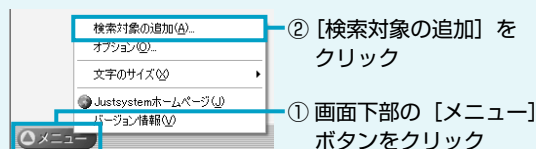
新着情報が確認したいのに、画面が表示されない場合は、次のように操作してください。
① 画面左下の［メニュー］ボタンをクリックし、表示されたメニューから［オプション］をクリックする
② ［CyberSupport起動時に確認する］と［確認メッセージを表示する］をチェックし、［OK］ボタンをクリックする
③ ［×］ボタンをクリックしてサイバーサポートを終了する
④ サイバーサポートを起動する

3 検索対象を選択する

ここでは「パソコンマニュアル」を選択したままにします。

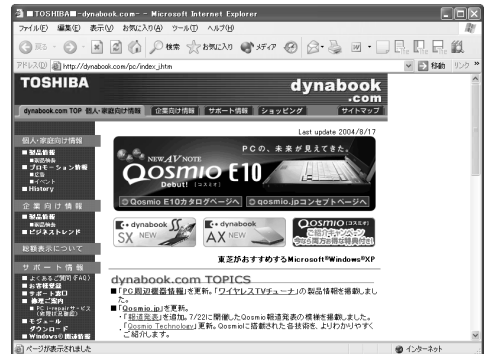
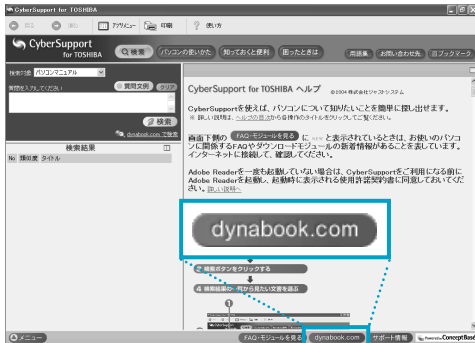
サイバーサポートを起動したときに、検索画面が表示されていない場合は、［検索］ボタン（検索）をクリックしてください。

4 質問を入力して検索する

「dynabook.com」へ接続し、「よくあるご質問(FAQ)」と「ダウンロード」に掲載されている本製品の情報を検索することができます。手順4-②で［dynabook.comで検索］（dynabook.com で検索）をクリックしてください。

メモ

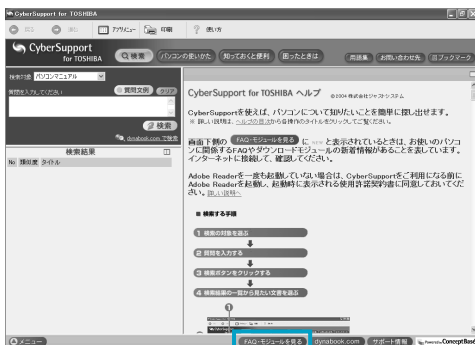
検索対象を追加することができます。操作方法は次のとおりです。

「dynabook.com」の情報を見る

サイバーサポートでは、 dynabook.com ボタンを使ってブラウザを起動し、「dynabook.com」のページを表示することができます。「dynabook.com」では、製品に関する最新の情報やお客様からのよくあるご質問を紹介しています。製品に関してわからないことがあった場合は、まず「dynabook.com」を確認してみてください。

1 サイバーサポートの［dynabook.com］ボタンをクリックする

「dynabook.com」が表示されます。

FAQやダウンロードモジュールを確認する

サイバーサポートは、「dynabook.com」に掲載されているFAQやダウンロードモジュールの情報の中から、自動的に本製品に関することだけを簡単に表示させることができます。また、サイバーサポート起動時に新着情報があるかどうかを確認した後、［FAQ・モジュールを見る］ボタンに「NEW」と表示された場合は、本製品に関する新しいFAQやダウンロードモジュールが追加されていることを示します。

1 サイバーサポートの［FAQ・モジュールを見る］ボタンをクリックする

［FAQ・モジュールを見る］ボタンは、サイバーサポート起動時に確認した新着情報の結果によって変わります。

ボタン	状態
NEW FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュール両方に新着情報があるとき
NEW FAQを見る	FAQに新着情報があるとき
NEW モジュールを見る	ダウンロードモジュールに新着情報があるとき
FAQ・モジュールを見る	FAQ・ダウンロードモジュールの両方とも新着情報がないとき

新着情報を表示します。

以前から掲載されている情報の中から期間を指定して表示します。

「dynabook.com」について

東芝PC総合情報サイト「dynabook.com」では、「よくあるご質問（FAQ）」や、デバイスドライバや修正モジュールのダウンロード、Windows関連情報を提供しています。また、サポート窓口や修理についても案内しています。

＊画面は実際の表示内容と異なる場合があります。

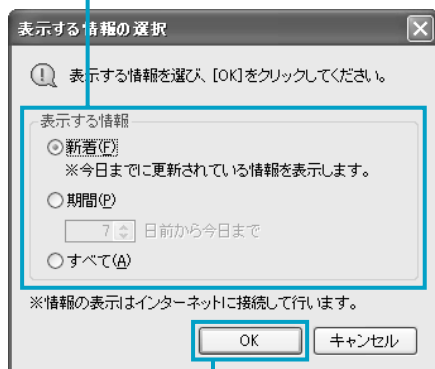
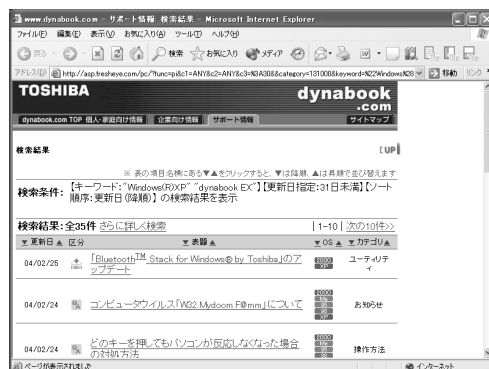
［サポート情報］タブをクリックすると、サポート情報のページが表示されます。

各項目をクリックして、情報を確認してください。キーワードや文章を入力して検索したり、メールで質問を寄せていただくこともできます。

＊このページは、「Internet Explorer」を起動すると、最初に表示されるように設定されています（購入時の状態）。

2 表示する情報の期間を選択をする

新着情報を確認したいときは［新着］をチェックします。期間を指定したいときは［期間］をチェックし、日数を指定します。

① 期間を選択する

② ［OK］ボタンをクリック

情報が表示されました。

【「CyberSupport for TOSHIBA」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル：0570-00-3100（サポート料無料）

受付時間　：9:00～19:00（年中無休）

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

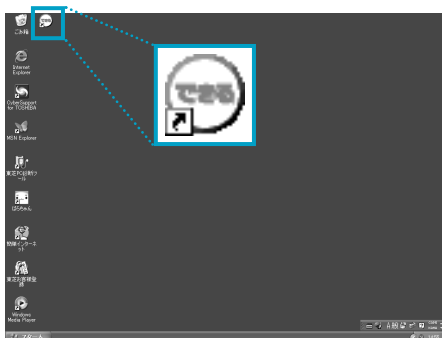
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

パソコンの基本操作を学習する

できるdynabook（ダイナブック）

パソコンの基本操作を学習するには、「できるdynabook」を使います。Windows、インターネット、メールの基本操作について、レッスンごとに紹介されており、パソコンの画面上で学習することができます。

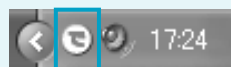
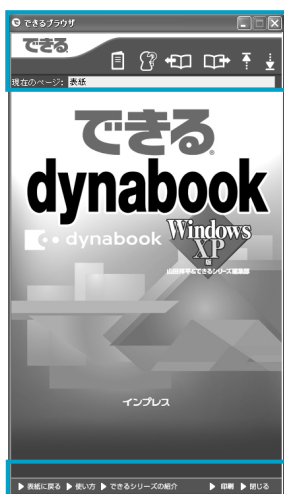
「できるdynabook」を操作する

1 [できるdynabook] アイコンをダブルクリックする

メモ

「できるdynabook」は常に最前面に表示されるように設定されています。[最小化] ボタンをクリックすると、画面右下の通知領域にアイコンを残して表示が消えます。元の大きさに表示を戻すときは、通知領域のアイコンをクリックしてください。

2 起動する

戻る
1レッスン前へ戻ります。

進む
1レッスン先へ進みます。

用語集
左側に用語集を開きます。

目次
左側に目次を開きます。

最小化
「できるdynabook」画面を最小化します。

上へ
1手順上へ戻ります。

下へ
1手順下へ進みます。

現在のページ
現在開いているレッスン番号とタイトルを表示します。

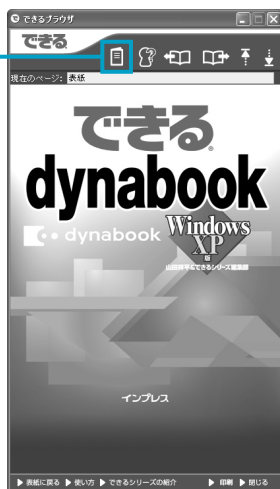
閉じる
「できるdynabook」を終了します。

使い方
左側に「できるdynabook」のヘルプを開きます。

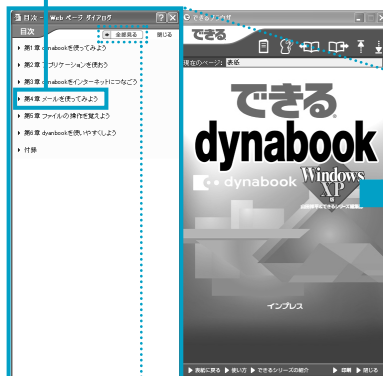
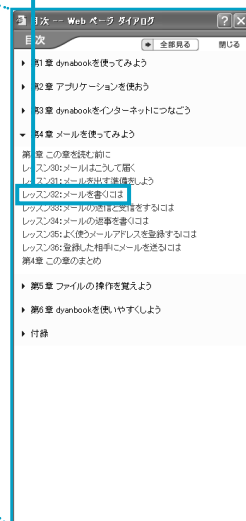
印刷
表示されているページを印刷します。

レッスンの画面を開く

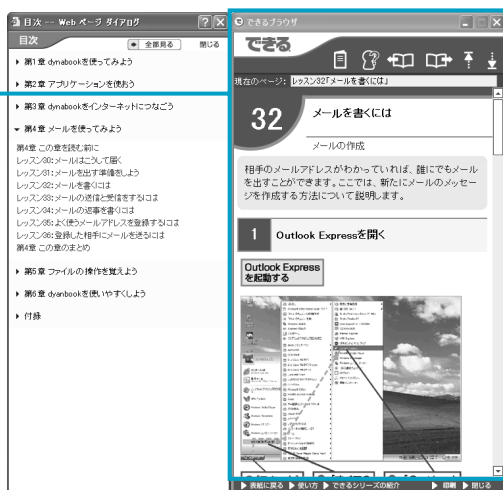
ここでは、メールの操作を学習する目的を例にして、レッスンの画面を開く方法を説明します。

1 目次をクリックする

2 目的のレッスンをクリックする

ここでは、メールソフト「Outlook Express」でのメールの作成方法を学習する画面を表示します。

①［第4章 メールを使ってみよう］をクリック

②［レッスン32：メールを書くには］をクリック

［全部見る］をクリックすると、目次の全項目が表示されます。

3 レッスン画面が表示される

画面の指示に従って学習してください。

「できるdynabook」では、次の内容を学習できます。

- 第1章 ：dynabookを使ってみよう
  - ・パソコンの基本操作について
- 第2章 ：アプリケーションを使おう
  - ・文字入力やファイルの作成方法など
- 第3章 ：dynabookをインターネットにつなごう
  - ・インターネットの接続／操作方法など
- 第4章 ：メールを使ってみよう
  - ・「Outlook Express」を使ったメールの設定／操作方法など
- 第5章 ：ファイルの操作を覚えよう
  - ・フォルダやファイルについて
- 第6章 ：dynabookを使いやすくしよう
  - ・デスクトップのデザインや時刻の変更方法など

【「できるdynabook」の問い合わせ先】

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル ：0570-00-3100（サポート料無料）

受付時間 ：9:00～19:00（年中無休）
システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。
拠点までの電話料金は有料となります。また海外からの電話、携帯電話などで左記電話番号に接続できないお客様は、043-298-8780までご連絡ください。

問い合わせ先

OS／アプリケーション／プロバイダ

＊2004年11月現在の情報です。各社の事情で受付時間などが変更になることがあります。

OSの問い合わせ先

Windows セキュリティ センターなど、Microsoft® Windows® XP Service Pack 2 セキュリティ強化機能搭載の新規機能についてのサポート情報は、下記のホームページをご確認ください。

http://support.microsoft.com/

Windows XPに関する一般的なお問い合わせは、東芝PCダイヤルになります。

アプリケーションの問い合わせ先

各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれの問い合わせ先まで問い合わせてください。

its-mo Navi デジタル全国地図

ゼンリンデータコム　お客様相談室

E-mail　：itsmo_navi@zenrin-datacom.net
ホームページ　：http://www.zmap.net/contactus/index.html

gooスティック

goo事務局

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：045-848-4190
E-mail　：info@goo.ne.jp
ホームページ　：http://stick.goo.ne.jp

Norton Internet Security

●期限切れによる「更新サービスの延長」申し込み

シマンテックストア

ホームページ　：http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/
受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：0570-005557（ナビダイヤル）
FAX　：0570-005558（ナビダイヤル）

●ユーザー登録およびご購入前の一般的なご質問に関するお問合せ

シマンテック コンシューマ カスタマーサービスセンター

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝日・年末年始を除く）
TEL　：0570-054115（ナビダイヤル）
FAX　：0570-054116（ナビダイヤル）

※FAXでのお問い合わせはご回答までにお時間がかかる場合があります。
お急ぎの場合は、お電話でのお問い合わせをお勧めいたします。

●技術的なお問い合わせ

シマンテック コンシューマ テクニカルサポートセンター

受付時間　：10:00～17:00（土・日・祝祭日を除く）

本センターをご利用頂くためには、ユーザー登録が必要です。また、ご利用期間は登録日から90日間となります。期間経過後のご利用は、有償サポートチケットをご購入頂くか、またはパッケージ製品へのアップグレードをご検討ください。
※テクニカルサポートセンターの連絡先は、ご登録された電子メールアドレス宛に通知いたします。
ユーザー登録サイト ： http://www.symantec.com/region/jp/techsupp/regist/oem/toshiba/

マカフィー・ウイルススキャン／マカフィー・パーソナルファイアウォールプラス

マカフィー・カスタマーオペレーションセンター
（主に、ユーザ登録や更新時お支払い等、オペレーション上でのお問い合わせ。）

受付時間	：9:00～17:00（土・日・祝祭日除く）
TEL	：0570-030-088
E-mail	：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/consumer_contact.asp

マカフィー・テクニカルサポートセンター
（主に、ソフトウェアご使用上の操作方法や不具合等技術的なお問い合わせ。）

受付時間	：9:00～21:00（年中無休）
TEL	：0570-060-033
E-mail	：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/contact.asp

ホームページ　：http://www.mcafeesecurity.com/japan/mcafee/support/

筆ぐるめ

富士ソフトABC株式会社　インフォメーションセンター

受付時間	：9:30～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・休業日を除く）
TEL	：03-5600-2551
FAX	：03-3634-1322
E-mail	：users@fsi.co.jp
ホームページ	：http://info.fsi.co.jp/fgw12/

The翻訳インターネット

The翻訳サポートセンター

受付時間	：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝日ならびに本サポートセンター臨時休業日を除く）
TEL	：0120-1048-37（フリーダイヤル、携帯電話・PHSをご利用の場合には、03-5465-7290）
E-mail	：honyaku@toshiba-sol.co.jp
ホームページ	：http://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/seihin/internet/index_j.htm

※ユーザ登録をおすすめします。https://pf.toshiba-sol.co.jp/prod/hon_yaku/regist/tti_regist.htmlから
ユーザ登録を行うことができます。
※日本語のみでお受けいたします。

プロアトラス W3 for TOSHIBA

アルプス社　お客さま相談センター

受付時間	：10:00～17:00（土・日・祝祭日、休業日を除く）
TEL	：03-5319-3719
FAX	：03-5319-3720（24時間受付）
E-mail	：support@alpsmap.co.jp
製品情報サイト	：http://www.alpsmap.co.jp/paw3/support/

駅すぱあと

株式会社ヴァル研究所　「駅すぱあと」ユーザーサポートセンター

受付時間	：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日・指定日を除く）
TEL	：03-5373-3522
FAX	：03-5373-3523
E-mail	：support@val.co.jp ※ユーザー登録されたお客様が対象になります。
ホームページ	：http://ekiworld.net/

Disney BB セレクト

ディズニー・インターネット・グループ・カスタマーセンター

営業時間	：月～金10:00～20:00（土日祝日を除く）
TEL	：03-5977-7140
E-mail	：http://www.disney.co.jp/disneybb/contact
ホームページ	：http://www.disney.co.jp/disneybb/

BroadNewsStreet

ニューズウォッチ

E-mai　：toshibapc@newswatch.co.jp
対応時間　：平日10：00〜17：30
（土、日、祝日、およびニューズウォッチが別途定める日はサポートの対象外となります。）

駅探エクスプレス

駅探エクスプレスサポート

受付時間　：メールのため受付時間の制限はありません。
※webmasterからの返信は、基本的に平日（10:00〜18:00）の対応とさせていただいております。
また、内容により返信できない場合、回答に日数を要する場合もありますので、あらかじめご了承ください。
E-mail　：express-support@ekitan.com
ホームページ　：http://express.ekitan.com/

ホームページミックス /R.2

●ユーザー登録に関するお問い合わせ
ユーザー登録ご相談窓口

受付時間　：平日10:00〜19:00、土・日・祝日10:00〜17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-2624　大阪　06-6886-2624
ホームページ　：http://www.justsystem.co.jp/service/

●製品の使い方に関するお問い合わせ
ジャストシステムサポートセンター

＊サポートセンターへお問い合わせの際には、お客様のUser IDおよび製品のシリアルナンバーが必要です。
受付時間　：平日10:00〜19:00、土・日・祝日10:00〜17:00（特別休業日を除く）
TEL　：東京　03-5412-3980　大阪　06-6886-7160
ホームページ　：http://support.justsystem.co.jp/

Recovery Disc Creator

ソニック・サポートセンター

受付時間　：10:00〜12:00、13:00〜17:00（土・日・祝祭日・年末年始・特別行事日を除く）
TEL　：03-5232-6400

お問い合わせは、ソニック・ソルーションズのサポートページのメールサポートフォームより質問内容をお送りください。
ホームページ　：http://www.sonicjapan.co.jp/support/index.html

cocoa

NTTコミュニケーションズ カスタマーズフロント

TEL　：0120-506506
受付時間　：9:00〜21:00：無休（年末年始を除きます）
ホームページ　：http://coden.ntt.com/

プロバイダの問い合わせ先

「簡単インターネット」やプロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダの問い合わせ先は、次のとおりです。

かるがるネット

かるがるネットサポートセンター

受付時間　：9:30〜18:30（土・日・祝日を除く）
TEL　：03-5777-0670
FAX　：03-5777-0665
E-mail　：info@karugaru.net
ホームページ　：http://www.karugaru.net/

AOL

AOLメンバーサポートセンター

受付時間 ：9:00～21:00（年中無休）
TEL ：0120-275-265 ＊携帯電話、PHSの場合：03-5331-7400
FAX ：0120-379-930（自動案内）
E-mail ：aoljapanms@aol.com
ホームページ ：http://support.aol.co.jp/

@nifty

@niftyブロードバンド導入ご相談窓口

受付時間 ：毎日9:00～22:00 ＊ビルの電源工事などによりお休みさせていただく場合があります。
TEL ：0120-50-2210（フリーダイヤル）
E-mail ：https://www.nifty.com/support/madoguchi/form_join.htm
ホームページ ：http://www.nifty.com/support/madoguchi/madoguchi_join.htm

BIGLOBE

NEC BIGLOBEカスタマーサポート

インフォメーションデスク
受付時間 ：9:00～22:00 365日受付
TEL ：0120-86-0962
＊携帯電話、PHS、CATV電話のかたはこちらへ：03-3947-0962
＊電話番号は、おかけ間違いのないようお願いします。
ホームページ ：http://support.biglobe.ne.jp/

DION

KDDIカスタマーサービスセンター

●サービス内容に関するお問合わせ
TEL ：0077-7192（無料／9:00～21:00／土・日・祝日も受付中）

●接続・設定等に関するお問合わせ
TEL ：0077-7084（無料／24時間受付／土・日・祝日も受付中）

ホームページ ：http://www.dion.ne.jp/
メールでのお問い合わせはホームページから：http://cs119.kddi.com/dion/

infoPepper

infoPepperインターネットサービス

受付時間 ：10:00～12:00、13:00～17:00（休業日を除く月曜～金曜）
TEL ：044-201-0450
FAX ：044-246-1131
FAX・音声情報サービス：044-201-0449（24時間受付）
E-mail ：support@staff.pep.ne.jp
ホームページ ：http://www.pep.ne.jp/

POINT [POWERED INTERNET]

POINTコールセンター

受付時間 ：10:00～21:00（平日） 10:00～18:00（土日祝）
TEL ：0081-1588（無料／関東圏内） 0120-719-033 （無料）
携帯電話／PHSからは03-4316-4050
E-mail ：http://www.point.ne.jp/support/shiryou/（各種資料請求フォーム）
http://www.point.ne.jp/help/question/（お問い合わせフォーム）
ホームページ ：http://www.point.ne.jp/

OCN

●OCNサービスの入会に関するご相談

OCNヘルプデスク

TEL　：0120-047-747
受付時間　：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝）※年末、年始を除く

●OCNサービスご契約者専用お問い合わせ先

OCNカスタマサポート

TEL　：0120-047-860
FAX　：0120-047-861
受付時間　：9:00～21:00（月～金）
9:00～17:00（土・日・祝日）※年末、年始を除く
E-mail　：support@ocn.ad.jp
ホームページ　：http://www.ocn.ne.jp/

ODN

ODNサポートセンター

●ODNサービスに関するお問い合わせ

TEL　：0088-86（無料。ダイヤルアップコース）
0088-222-375（無料。ADSL／光コース）
受付時間　：24時間自動受付（9:00～18:00はオペレーター受付も可能）

●接続に関するお問い合わせ

TEL　：0088-85（無料。ダイヤルアップコース）
0088-228-325（無料。ADSL／光コース）
受付時間　：24時間自動受付（9:00～18:00はオペレーター受付も可能。また、ADSL／光コースの場合、オペレーター受付は9:00～21:00）

●E-mailによるお問い合わせ

ダイヤルアップコースサービス案内　：odn-support@odn.ad.jp
ダイヤルアップコース接続サポート　：tech-support@odn.ad.jp
ADSL／光コースサービス案内・接続サポート　：info-adsl@odn.ad.jp

●FAXによるお問い合わせ

ODN FAX サービス　：0088-218-586（無料。年中無休）

So-net

So-netインフォメーションデスク

受付時間　：9:00～21:00（年中無休）
TEL　：0570-00-1414
FAX　：03-3446-7557
E-mail　：info@so-net.ne.jp
ホームページ　：http://www.so-net.ne.jp/support/

Yahoo! BB

Yahoo! JAPAN 新規Yahoo! BB申し込み受付センター

TEL　：0120-33-4546（フリーダイヤル）
受付時間　：9:00～22:00　（月曜～金曜）
8:00～22:00　（土曜、日曜、祝日）

＊多数のお申し込みをいただいているため、20時以降、電話がつながりにくい場合があります。20時以前はつながりやすいので、ぜひご利用ください。

Trademarks

・Microsoft、Windows、Windows Media、Outlookは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページジミックスは、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
・CyberSupport、BeatJam、ホームページジミックス /R.2は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、CyberSupport、BeatJam、ホームページジミックス /R.2にかかる著作権、その他の権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
・CDDBはGracenoteの商標です。
・「駅前探険倶楽部」、「駅探」は登録商標です。
・The翻訳、The翻訳インターネットは、東芝ソリューション株式会社の商標です。
・Adobe、Photoshopは、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標ならびに登録商標です。
・駅すぱあとは、株式会社ヴァル研究所の登録商標です。
・プロアトラスは、株式会社アルプス社および株式会社アルプス出版社の登録商標です。
・Symantec、Norton AntiVirus、LiveUpdateはSymantec Corporationの登録商標です。
Norton Internet Securityは、Symantec Corporationの商標です。
・McAfee、VirusScanおよびマカフィーは米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の登録商標です。
・InterVideo、WinDVD、WinDVR、WinDVD CreatorはInterVideo,Inc.の登録商標または商標です。
・Sonic RecordNow!はSonic Solutionsの登録商標です。
・「できる」は、株式会社インプレスの登録商標です。
・infoPepperは東芝情報システム株式会社の登録商標です。
・アメリカ・オンラインおよびAOLはAOLの登録商標です。
・BIGLOBEは日本電気株式会社の登録商標です。
・DIONはKDDI株式会社の登録商標です。
・OCNはNTTコミュニケーションズ株式会社の商標です。
・@niftyは、ニフティ株式会社の商標です。
・ODNは日本テレコム株式会社の商標です。
・So-net、ソネット、およびSo-netのロゴはソニー株式会社の商標、または登録商標です。
・かるがるネットは株式会社ジーエムエス総合研究所の登録商標です。
・メモリースティックはソニー株式会社の商標です。
・xD-ピクチャーカード™は、富士フイルム株式会社の商標です。
・i.LINKは商標です。
・スマートメディアは、株式会社東芝の登録商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

・本書の内容は、改善のため予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を、無断で転載することは禁止されています。
・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
東芝PCダイヤルにお問い合わせください。

dynabook 図解で読むマニュアル

平成16年12月9日　A1版発行　GX1C00079110

発行　株式会社 東芝 PC＆ネットワーク社

PC第一事業部　〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

この冊子は植物性大豆油インキを使用しております。
この冊子は再生紙を使用しております。

東芝PC総合情報サイト
http://dynabook.com/

株式会社 東芝
PC＆ネットワーク社　PC第一事業部
〒105-8001　東京都港区芝浦1-1-1

GX1C00079110
PRINTED IN JAPAN